

令和6年度
墨田区立児童館第三者評価報告書

施設名 立花児童館

令和7年2月
経営創研株式会社

第三者評価概要

1. 評価実施

- 1) 対象施設 墨田区立立花児童館
- 2) 指定管理者 労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
- 3) 評価実施日 令和6年9月11日(水)※現地訪問日
- 4) 評価機関 経営創研株式会社
- 5) 評価員 葛岡陽子

2. 評価項目と判断基準

この第三者評価は、厚生労働省より公表されている児童館版の「福祉サービス内容評価基準ガイドライン」で定めている評価項目と評価基準に沿って、評価シートを作成しています。対象となる児童館は放課後児童クラブを併設しているため、放課後児童クラブガイドラインの重要項目を大項目として追加してあります。

評価の手順は、指定管理者による自己評価の後に、評価者による評価を行います。初めに次表の評価基準による「段階の評価」を行い、「評価機関の記入欄」では、評価を判断した根拠を説明しています。

本評価シートの評価項目は大・中・小項目に分類し、小項目を「s a b c」の4段階で評価し、その結果を基に中項目と大項目を評価しています。

小項目は、タイトルが丸数字で始まる部分で、具体的な設問を提示しています。

中項目は、複数の小項目からなるグループで、タイトルは括弧が無い数字で示しています。

大項目は、「Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織」「Ⅱ 組織の運営管理」「Ⅲ 適切な福祉サービスの実施」「A 児童館等の活動に関する事項」「B 放課後児童クラブの活動に関する事項」の5項目とします。

小項目の判断基準

判断は業務仕様書・協定書を基準とし、事業計画書を参考に行います。

「s」評価は、「a」評価以上に良い状態で、他施設の模範となる水準

「a」評価は、業務仕様書・協定書を満たした上で、質が良い、量が多い、工夫があるなどの水準

「b」評価は、業務水準書・協定書を満たしている水準

「c」評価は、業務水準書・協定書を満たしていないか、大幅または早急な改善を必要とする水準

中項目の判断基準

「S」評価は、小項目の評価結果が「s」と「a」のみで、半数以上が「s」かつ「c」が無い

「A」評価は、小項目の評価結果の過半数が「s」または「a」で「c」が無い

「B」評価は、「S」「A」「C」以外

「C」評価は、小項目の評価結果に複数または25%以上の「c」がある

大項目の判断基準

「S」評価は、中項目の評価結果が「S」と「A」のみで、半数以上が「S」で「C」が無い

「A」評価は、中項目の評価結果の過半数が「S」または「A」で「C」が無い

「B」評価は、「S」「A」「C」以外

「C」評価は、中項目の評価結果に複数の「C」がある

第三者評価結果の概要

評価機関総合コメント

児童館ガイドラインおよび放課後児童クラブガイドライン、墨田区児童館条例、業務仕様書、関係法令等を遵守した適切な管理運営が行われています。近年急激に増加する学童クラブのニーズに所管課とともに真摯に応えています。

指定管理者である労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団は、立花児童館を平成8年から管理運営しています。継続的に運営しているため、隣接する団地の皆さんからも頼られる地域包括的な役割も発揮しています。

業務日誌は、子どもの様子やどのように対応したか等、記載され職員間で共有することで、子ども達への対応の学び合いに役立てています。毎日の昼会議は、児童館と分室含めた学童クラブ職員全員が参加しています。さらに児童館・学童それぞれに別れ、具体的な運営について協議しています。毎月開催する団会議では、継続的な課題についても討議しています。

年度報告書は、事業の報告のみならず、「次年度展望」「今後の課題」項目を設け、個々の事業について詳細に分析している点が高く評価できます。学童クラブ報告書である「学童クラブ年間活動計画反省と課題」は、目標→反省→今後の課題という構成の書式となっており、児童の育成という視点が明確になっています。全職員が参加し、KJ法を用いたワークショップを重ね、年度計画を策定しています。

施設長は、近隣の団地の皆さんや地域の方とも顔の見える関係性を構築しています。近隣に公共施設がないため、地域で子ども達の育ちをサポートしていく視点のみならず、高齢者のケアも含めた地域福祉の向上にも意欲をもち、実際に課題のある高齢者への対応にも尽力しています。さらに高齢者・外国人・子育て世帯の孤立防止に向けて施設外においても「One SUMIDA Project」の実行委員会のメンバーとして、尽力しています。

施設においても地域の卓球サークルの方が児童館の「卓球タイム」の講師ボランティアに参画したり、地域の方に参画頂いて菜園活動「やさいそだて隊」を実施したり、地域との交流や世代間交流が展開されています。

月1回子ども会議を開催しています。この会議で意見からお泊り会を実施しています。スマホの使い方やカードゲームのルールも子どもの意見を反映しています。事業「こどもえんにち」に代表される様に、事業は単に施設が提供するというより、こども参画型で子どもの意見を反映させています。配慮を必要とする子どもについて、関係機関からの依頼を受け、複数案件について継続的に見守りを行っています。

学童クラブのおやつ提供は、区の定める『食の提供（衛生管理）の手引き』に基づいて衛生管理を行いながら、手作りおやつ（軽食）やフルーツも提供しています。同法人で食に関して連携できる法人があるため、バラエティに富んだおやつ提供を可能にしています。

裁縫やレゴ、読書等子ども自らの興味関心を尊重した遊びや体験ができるように配慮しています。多彩な事業を実施し、子ども達の参画意識を向上させています。また、班活動を取り入れ、子ども同士で協議しながら取り組めるように指導しています。

保護者との連絡や出欠管理を入退室管理システム「安心でんしょばと」に完全移行しました。保護者や学校と連携を密にしています。

※本報告書では原則として「放課後児童クラブ」を「学童クラブ」と称して記述する場合もあります。

特に評価の高い点

I 福祉サービスの基本方針と組織

- ・年度報告書は、事業の報告のみならず、「次年度展望」「今後の課題」項目を設け、個々の事業について詳細に分析している点が高く評価できます。全職員が参加し、KJ法を用いたワークショップを重ね、年度計画を策定しています。学童クラブ報告書である「学童クラブ年間活動計画反省と課題」は、目標→反省→今後の課題という構成の書式となっており、児童の育成という視点が明確になっています。

II 組織の運営管理

- ・施設長は、近隣の団地の皆さんとも顔の見える関係を構築し、近隣に公共施設がないため、公共施設として地域包括的な役割も意識しています。また地域からも頼られる存在です。高齢者・外国人・子育て世帯の孤立防止に向けて施設外においても「One SUMIDA Project」の実行委員会のメンバーとして、尽力しています。
- ・現場職員の採用は現場が主体となって取組んでいます。ワーカーズという労働形態のため、職位や給与に連動する人事評価制度はありません。ワーカーズという働き方の意義を職員に周知しています。
- ・人材確保で特筆できる点は、元利用者が職員として3名勤務していることでしょうか。地域懇談会で声かけをして地域の方からの人材確保にも取組んでいます。
- ・「卓球タイム」や園芸活動「やさいそだて隊」等の事業に地域の方がボランティアとして参画しており、世代間交流にもなっています。

III 適切な福祉サービスの実施

- ・月1回子ども会議を開催しています。スマホの使い方やカードゲームのルールも議題にあげ子ども達とともに決めています。またこども会議で意見からお泊り会を実施しています。事業「こどもえんにち」に代表される様に、事業は単に施設が提供するというより、こども参画型で子どもの意見を反映させています。

A 児童館の活動に関する事項

- ・特に課題や支援が必要な家庭とは子育て支援総合センターや児童相談所等の関係機関と連携しながら、重要な居場所として機能しています。学校や家庭に居場所をみつけられない子ども達も地域の中で育む視点を持ち、地域懇談会で情報を共有したり、地域商店に協力頂いて事業「食育子ども商店街」を実施したり地域連携も活発です。
- ・こどもの権利条約を掲示し、意識の啓発を図っています。
- ・たちばなこどもえんにちは、こどもスタッフによる実行委員会制で運営しています。令和5年度には、それまで4年生以上の年齢制限だったのを低学年も参加可能とし、層異年齢での子ども達のかかわりが増加し、リーダーシップの持ち方にも子ども自ら気づきを得ています。

B 放課後児童クラブの活動に関する事項

- ・学童クラブのおやつ提供は、区の定める『食の提供（衛生管理）の手引き』に基づいて衛生管理を行いながら、手作りおやつ（軽食）やフルーツも提供しています。同法人で食に関して連携できる法人があるため、バラエティに富んだおやつ提供を可能にしています。
- ・班活動を取り入れ、子ども同士で協議しながら取り組めるように指導しています。

改善を求められる点

- ・学童クラブの保護者との連絡体制が主に連絡帳から入退室管理システム「安心でんしょばと」に移行した変化の大きい年でした。課題とメリットを検証し、次年度以降の保護者とのコミュニケーションのあり方に反映されることを期待します。
- ・小学校高学年や中高生の利用は、幼少期や低学年での児童館や学童クラブの利用の経験や職員との信頼関係が礎になっています。そのため、継続的な運営の意義は大きいといえます。学童クラブ分室が増加していますが、拠点としての児童館の果たす役割は大きく、職員や事業の連携が重要と考えられます。
- ・子どもがくつろいだり、遊んだりするスペースは一定程度確保されていますが、指定管理者の責によらないものの老朽化がすすみ、補修や安全への配慮箇所が利用者の目につく場所に多く存在します。（令和6年修繕実施予定。現地訪問日は着工前）中高生が寛いだり主に利用できるスペースが限られている点が課題です。学童クラブ利用者が増加している現状を踏まえると、利用人数に対する十分な空間確保や休息スペースの面で課題があるといえるでしょう。
- ・バックスペースの整理整頓がさらにすすむと良いでしょう。
- ・現在適切に人員配置をしていますが、広く社会的に人手不足が深刻です。労働に対する対価と合わせ継続的な課題といえるでしょう。

第三者評価に対する指定管理者のコメント

この度は立花児童館の運営に対する詳細な調査と評価を行なって頂きまして誠に有難うございました。

事業計画の作り方や地域に根ざした運営、子どもの参画などこれまで実践してきたことを評価して下さったことはとても嬉しく、自信になりました。これからも地域の方や子どもたちをはじめとした利用者と一緒に児童館運営をしていきたいと思います。

I C T化に伴う保護者との連携の仕方や児童館と分室を含めた学童クラブの職員間の連携、子どもの居場所の確保や整理整頓、人材確保、育成について改善を求められる点として挙げられています。指定管理者だけでは改善が難しいところもありますが、行政や地域、関係機関などと連携協同していきたいと思います。

大項目評価の概要

Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織	評価結果：A
評価機関コメント	
・本事業に関連する「子ども・子育て関連3法による改正児童福祉法」や「児童館ガイドライン」の規定に基づく墨田区の「墨田区子ども・子育て支援総合計画」実現に向けて、「児童館・学童クラブ倫理綱領」を定めています。地域環境や長年運営して来たからこそわかる課題を明確にしながら、職員全員が参加するKJ法を用いたワークショップを重ね、児童館の運営理念「地域は家族～幅広い世代を紡ぐみんなの家「立花児童館」～」を策定しています。 ・リーダー会議（館長・主任が参加）と月1回の団会議には全職員が参加し、振り返りを行っています。事業報告書作成時には、事業報告と収支決算とを合わせ経営状況を分析しています。支援が必要な家庭や子どもが増加傾向にある中、職員の業務量の増加や担う内容の複雑化の課題を明確にしています。 ・業務日誌は、子どもの様子やどのように対応したか等、記載され職員間で共有することで、子ども達への対応の学び合いに役立っています。毎日の昼会議は、児童館と分室含めた学童クラブ職員全員が参加しています。前日の報告や課題、ヒヤリハットの共有から、子ども達への対応で留意が必要な点の協議も行われ、内容が伝達だけに留まっていません。さらに、毎月の団会議ではより課題を集約し共有しています。	
Ⅱ 組織の運営管理	評価結果：A
評価機関コメント	
・館長は、幼稚園・児童館・学童クラブで豊富な経験を有しています。また当施設における館長としての経験も6年に及びます。近隣の団地の皆さんとも顔の見える関係を構築し、近隣で唯一の公共施設として地域包括的な役割も意識してリーダーシップを発揮し活動しています。 ・地域懇談会を年3回実施しています。その中で児童館が子どもたちの居場所になっていることや様々な関係機関と連携していることを伝えています。参加者から児童館の活動への理解が深まったと感想を頂いています。学童クラブは、保護者会を年3～4回開催しています。保護者会では、映像で普段の様子を紹介しています。 ・地域の卓球サークルの方数名に週間行事である「卓球タイム」の講師ボランティアに参画して頂き、子ども達に卓球を教えています。園芸活動「やさいそだて隊」も地域の方に参画頂いています。食支援ネットワークも学童の活動を支援しています。地域で子どもを育む環境づくりに寄与しています。 ・子ども食堂を開催したいという意見が出ました。しかし、児童館では、不特定多数の人に食事提供ができないという状況もあり、申込み制の食事提供イベント「お食事会」を開催しました。子どものみならず高齢者のニーズも高いことが判明し、地域の方からも賛同の声が多く、「地域食堂 実行委員」を立ち上げていこうという話になり、令和3年度から高齢者・外国人・子育て世帯の孤立防止、見守り強化のため、課題意識を共有するみんなでそれぞれ1割の力を持ち寄って、知識やつながりによって解決していくことを目的として活動している「One SUMIDA Project」の実行委員会のメンバーとして、尽力しています。	

Ⅲ適切な福祉サービスの実施	評価結果：A
評価機関コメント	
・「学童クラブ運営指針」や法人の「協同労働の協同組合7つの原則」「協同労働の子育て指針」を全体会議等で読み合せをしています。昼会議で前日の報告や課題、今日の予定、見守りが必要な利用者等の情報共有を徹底しています。 ・本部で作成した管理危機基本マニュアルがあります。昼会議では都度ヒヤリハットを口頭で伝えています。法人の危機管理部会の会議に毎月参加し、情報や事例共有しています。業務日誌にはヒヤリハットを記載する欄があります。 ・児童館（年3回）・学童クラブ（毎月）・に防災・防犯・避難訓練年間計画を作成しています。3月には全施設合同地震津波想定避難訓練（UR団地の避難への避難）を実施しています。災害時のマニュアルを所管課と共有しBCPも作成しています。	

A児童館等の活動に関する事項	評価結果：A
評価機関コメント	
・乳幼児と保護者がいつでも来館しくつろぎ、また相談や仲間づくりができるように、遊具の配置や事業に留意しています。小中高生にとっては、ひとりでまた友達といつでも来館でき、くつろぎ・遊べるように図書やマンガやボードゲームを充実させ、事業は子どもの意見を取り入れています。 ・安全チェックリストを兼ねて遅番締め作業チェックリストを活用し、ダブルチェック体制で確認しています。また、日常清掃チェック表もあり衛生管理をしています。 ・特に課題や支援が必要な家庭とは子育て支援総合センター や児童相談所等の関係機関と連携しながら、重要な居場所として機能しています。 ・「たちばなこどもえんにち」は、実行委員会制度をとり子ども達が参画して事業を実施しています。	

B放課後児童クラブの活動に関する事項	評価結果：A
評価機関コメント	
・裁縫やレゴ、読書等子ども自らの興味関心を尊重した遊びや体験ができるように配慮しています。学童まつり・遠足・お泊り会等、多彩な事業を実施し、子ども達の参画意識を向上させています。 ・班活動を取り入れ、子ども同士で協議しながら取り組めるように指導しています。 ・区の定める『食の提供（衛生管理）の手引き』に基づいて衛生管理を行ったうえ、手作りおやつ（軽食）やフルーツも提供しています。同法人で食に関して連携できる法人があるため、バラエティに富んだおやつを提供を可能にしています。 ・子どもの権利条約について誰もが見やすい場所に掲示しています。子ども達の中で課題が発生した時は、子ども達での話し合いの機会を設けています。 ・学童クラブの日誌は、子どもの様子や配慮した方が良い点を記録し、職員間で共有し、職員全員が同じ認識をもって対応するように配慮しています。子ども自ら意見を言えるように配慮しています。	

墨田区立立花児童館 評価結果一覧表

	自己 評価	第三者 評価
I 福祉サービスの基本方針と組織	A	A
1 理念・基本方針	A	A
(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	a
2 経営状況の把握	A	A
(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	a
② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a	a
3 事業計画の策定	A	A
(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	a
② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	a
(2) 事業計画が適切に策定されている。		
① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	s
② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	b	b
4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	A	S
(1) 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。		
① 児童館(放課後児童クラブ)活動の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	s
② 評価の結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	a

Ⅱ 組織の運営管理	A	A
1 管理者の責任とリーダーシップ	A	A
(1) 管理者の責任が明確にされている。		
① 管理者は自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	b
② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	a
(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
① 児童館(放課後児童クラブ)活動の質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	a	s
② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a	s
2 福祉人材の確保・育成	A	A
(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	s
② 総合的な人事管理が行われている。	b	a
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a	a
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	a
② 職員の研修に関する基本方針や計画が策定され、研修が実施されている。	a	a
③ 職員一人ひとりの研修の機会が確保されている。	a	a
(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
① 実習生等の児童館(放課後児童クラブ)活動に関わる専門職等の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	a
3 運営の透明性の確保	A	A
(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	a
② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組(モニタリング等)が行われている。	a	a
4 地域との交流、地域貢献	A	S
(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	s
② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	a	s
(2) 関係機関との連携が確保されている。		
① 児童館(放課後児童クラブ)として必要な社会資源を明確にし、関係機関(墨田区、児童相談所、子育て総合支援センター、要保護児童対策地域協議会)等との連携が適切に行われている。	a	a
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a	a
② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a	s

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施		A	A
1 利用者本位の福祉サービス		A	A
(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
① 利用者を尊重した児童館(放課後児童クラブ)活動について共通の理解をもつための取組を行っている。		a	a
② 利用者のプライバシー保護に配慮した児童館(放課後児童クラブ)活動が行われている。		a	b
(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。			
① 利用希望者に対して児童館(放課後児童クラブ)を利用するために必要な情報を積極的に提供している。		a	a
② 児童館(放課後児童クラブ)活動の開始・変更にあたり利用者にわかりやすく説明している。		a	b
(3) 利用者満足の向上に努めている。			
① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。		a	a
(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。		a	a
② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。		a	a
③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。		a	a
(5) 安心・安全な福祉サービス提供のための組織的な取組が行われている。			
① 安心・安全な児童館(放課後児童クラブ)活動の提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。		a	a
② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。		b	b
③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。		a	a
2 福祉サービスの質の確保		A	B
(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。			
① 児童館(放課後児童クラブ)活動について標準的な実施方法が文書化され活動が提供されている。		a	b
② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。		a	a
(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。			
① 個々に支援が必要な利用者に対する個別の援助計画を適切に策定している。		a	a
② 定期的に個別の援助計画の評価・見直しを行っている。		a	b
(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。			
① 児童館(放課後児童クラブ)活動の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有されている。		a	s
② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。		a	b

A 児童館等の活動に関する事項(小型児童館・児童センター用付加項目)		A	A
1 児童館の施設特性		A	A
① 施設の基本特性が児童館の理念と目的に基づいて設定されている。		a	a
② 児童館の特性である、拠点性、多機能性、地域性を発揮している。		a	s
③ 子どもの権利を保障するための取組が徹底されている。		a	a
2 遊びによる子供の育成		A	A
① 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。		a	a
② 子ども自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。		a	a
③ 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるようにしている。		a	s
3 子供の居場所の提供		A	B
① 子どもが安全に安心して過ごせる居場所になるよう環境づくりや援助を行っている。		a	b
② 中・高校生世代の利用に対する援助がある。		b	s
4 子どもの意見の尊重		A	S
① 子どもの年齢及び発達の程度に応じて子どもの意見を尊重している。		a	a
② 子どもの意見が運営や活動に反映されている。		a	s
5 配慮を必要とする子どもへの対応		A	S
① 配慮を必要とする子どもへの対応を行っている。		a	s
② 子どもの活動の様子から必要があると判断した場合には、家庭と連絡を取って支援を行っている。		a	a
6 子育て支援の実施		A	S
① 保護者の子育て支援を行っている。		a	s
② 保護者と協力して乳幼児支援を行っている。		a	a
7 地域の健全育成の環境づくり		A	S
① 地域の健全育成の環境づくりに取組んでいる。		a	s
8 ボランティア等の育成と活動支援		A	A
① 子どもを含めたボランティア等の育成と活動支援を適切に行っている。		a	a
9 子どもの安全対策・衛生管理		A	A
① 子どもの安全対策・衛生管理を行っている。		a	a
10 学校・地域との連携		A	S
① 学校・地域との連携を行っている。		a	s
② 運営協議会が設置され、機能している。		a	a

B 放課後児童クラブの活動に関する事項		A	A
1 育成支援の内容		A	A
(1) 放課後児童クラブにおける育成支援の基本			
① 子どもが放課後児童クラブに自ら進んで通い続けられるように援助している。		a	a
② 子どもの出欠席を把握し、適切に援助している。		a	a
③ 子どもの安全や生活の連続性を保障している。		a	a
(2) 子ども一人ひとりと集団全体の生活を豊かにする育成支援			
① 子どもが安心して過ごせる生活の場となるよう工夫している。		a	b
② 子ども自身が見通しを持って主体的に過ごせるように援助している。		a	a
③ 日常生活に必要な基本的な生活習慣を習得できるように援助している。		a	b
④ 子どもが発達段階に応じた主体的な遊びや生活ができるように援助している。		a	a
⑤ 子ども同士の関係を豊かに作りだせるように援助している。		a	a
⑥ 子どもが自分の気持ちや意見を表現することができるように援助している。		a	a
(3) 固有の援助を必要とする子どもへの適切な育成支援			
① 障がいのある子どもの受入れの考え方を理解し、可能な限り受入れに努めている。		a	b
② 障がいのある子どもの育成支援に当たっての留意点を理解し、育成を支援している。		a	b
③ 特に配慮を必要とする子どもへの対応に当たって、関係機関と連携して適切な支援を行っている。		a	a
(4) 適切なおやつや食事の提供			
① 放課後の時間帯に栄養面や活力面から必要とされるおやつを適切に提供している。		a	s
② おやつや食事提供時の食物アレルギー事故、窒息事故等を防止するための対応を行っている。		a	a
③ おやつや食事に関する衛生管理を適切に行っている。		a	a
(5) 安全と衛生の確保			
① 子どもの安全に関する環境を整備している。		a	a
② 衛生に関する環境を整備している。		a	b
2 保護者・学校との連携		A	A
(1) 保護者との連携			
① 保護者との協力関係を構築している。		a	a
(2) 学校との連携			
① 学校との連携を図り、子どもの生活の連続性を保障している。		a	a
3 子どもの権利擁護		A	A
(1) 子どもの権利擁護			
① 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。		a	a
② 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。		a	b

墨田区立児童館 評価基準項目評価シート

		自己 評価	第三者 評価
児童館第三者評価 共通評価基準			
I 福祉サービスの基本方針と組織		A	A
I-1 理念・基本方針		A	A
	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
	①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	
	指定管理者 記入欄	①入職時の法人説明、全体会議では読み合せ、事務所の内の掲示にて理念・基本方針の明文化と周知をしている。利用者には事務室受付前の掲示や、学童クラブ入会時に実施する、法人説明の際に同様に周知をしている。	
	評価機関 記入欄	①本事業に関連する「子ども・子育て関連3法による改正児童福祉法」や「児童館ガイドライン」の規定に基づく墨田区の「墨田区子ども・子育て支援総合計画」実現に向けて、「児童館・学童クラブ倫理綱領」を定めています。地域環境や長年運営して来たからこそわかる課題を明確にしながら、職員全員が参加するKJ法を用いたワークショップを重ね、児童館の運営理念「地域は家族～幅広い世代を紡ぐみんなの家「立花児童館」～」を策定しています。	
I-2 経営状況の把握		A	A
	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
	①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	
	②	経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	
	指定管理者 記入欄	①各研修への参加、他児童館・施設との情報交換を元に、昼会議や全体会議で共有し、把握と分析をしている。月1回の墨田区児童館館長会や2カ月に1回の法人の施設長会議では、経営についての振り返りや成功事例の報告がされている。 ②経営課題としては、支援の必要な家庭や子どもが増えている中で児童館としてのソーシャルスキルが求められている。しかしながら、まだまだ職員のスキルが伴っていない。研修に参加したり、事例検討を毎月行いながらスキルを高められるようにしている。	
	評価機関 記入欄	①②リーダー会議(館長・主任が参加)と月1回の団会議には全職員が参加し、振り返りを行っています。事業報告書作成時には、事業報告と収支決算とを合わせ経営状況を分析しています。支援が必要な家庭や子どもが増加傾向にある中、職員の業務量の増加や担う内容の複雑化の課題を明確にしています。	
I-3 事業計画の策定		A	A
	1-3-(1) 中・長期なビジョンと計画が明確にされている。		
	①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	
	②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	
	指定管理者 記入欄	①指定管理更新時に5年間の中・長期計画を策定している。「地域は家族～幅広い世代を紡ぐみんなの家「立花児童館」～」をスローガンにした。スローガンは全体会議の中でワークショップを行い策定した。 ②単年度ごとに中・長期計画を元に前年度の利用者ニーズやアンケート、反省などを元に計画を策定している。	
	評価機関 記入欄	①指定管理者応募時の事業計画書において「地域は家族～幅広い世代を紡ぐみんなの家「立花児童館」～」をビジョンにかかげ、これに基づいて中長期計画(応募時事業計画書)を策定しています。ワーカーズコープが指定管理者として継続的に管理運営してきた成果と課題を分析して策定しています。 ②応募時の事業計画書と前年度の事業報告書を基に、年度計画書を作成しています。「事業計画 行事一覧表」「学童行事 計画」「防災・防犯・避難訓練」とそれぞれ具体的な実施内容や対象、時期を明確にし、実効性のある計画になっています。	

墨田区立児童館 評価基準項目評価シート

		自己 評価	第三者 評価
1-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。			
①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	s
②	事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	b	b
指定管理者 記入欄	①事業が終わるごとに振り返りを行い年度末には行事担当者を中心に報告書を作っている。また、年度の事業計画は前年度の報告書を元に前年度末に担当者、主任が作成し最後に館長が確認して作成している。 ②事務室前に事業計画書、事業報告書を置き利用者が手に取れるようにしている。また、行事の内容は各おたよりや館内ポスター、ホームページ等で周知している。また、近隣小学生向けおたよりは近隣小学校2校で全校配布していただいている。		
評価機関 記入欄	①事業ごとに振り返りを行っています。年度報告書は、事業の報告のみならず、「次年度展望」「今後の課題」項目を設け、個々の事業について詳細に分析している点が高く評価できます。全職員が参加し、KJ法を用いたワークショップを重ね、年度計画を策定しています。学童クラブ報告書である「学童クラブ年間活動計画反省と課題」は、目標→反省→今後の課題という構成の書式となっており、児童の育成という視点が明確になっています。実施状況も記載されています。見出しをつけるとよりわかりやすいでしょう。 ②地域の様々な機関が参加する地域懇談会では、事業計画の特徴的な点や課題を共有しています。利用者に対しては、いつでも見られるように受付に事業計画書・事業報告書・前回第三者評価をファイリングし配架しています。		

I - 4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組		A	S
I -4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。			
①	児童館(放課後児童クラブ)活動の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	s
②	評価の結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	a
指定管理者 記入欄	①毎日の昼会議では前日の児童館、各学童クラブの子ども達の様子を伝え合いその日の育成に活かしている。また、毎月の全体会議前には児童館、学童クラブはその月の全体の様子、各個人は月の振り返りをまとめ提出し、全職員が読んで情報共有し日々の取り組みに活かしている。 ②上記の会議等でた課題を児童館会議、学童会議で改善策を協議・実践している。また、館長、主任が出席するリーダー会議を行い各現場の課題の改善策を話し合い、実践している。		
評価機関 記入欄	①業務日誌は、子どもの様子やどのように対応したか等、記載され職員間で共有することで、子ども達への対応の学び合いに役立てています。毎日の昼会議は、児童館と分室含めた学童クラブ職員全員が参加しています。さらに児童館・学童それぞれに分かれ、具体的な運営について協議しています。毎月開催する団会議では、継続的な課題についても討議しています。毎年、法人が運営する他施設で1日勤務する「他現場研修」を実施しています。法人の他区(江東・墨田・荒川区)も含めてた児童館・学童・子育てプロジェクトも質の向上の学びの機会としています。 ②事業ごとに企画書・報告書が記載され、業務の改善やマニュアルとしても活用しています。		

墨田区立児童館 評価基準項目評価シート

		自己 評価	第三者 評価
児童館第三者評価 共通評価基準			
Ⅱ 組織の運営管理		A	A
Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ		A	A
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。			
① 管理者は自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。		a	b
② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。		a	a
指定管理者 記入欄	①役割と責任については、事業計画、組合員のしおり、立花児童館役割分担表に記載し職員間で共有している。 ②順守すべき法令等について、墨田区の館長会・研究会、法人の会議や研修、外部の研修に参加し順守すべき法令等を理解し、職員への周知を図っている。また、各種マニュアルなども用意し閲覧できるようにしている。		
評価機関 記入欄	①応募時事業計画書や立花児童館役割分担表の中に館長の役割を明記しています。各部署に主任をおき、館長が全体を統括しています。事業や行事ごとに担当を決めています。 ②遵守すべき法令やガイドラインはファイリングされ、いつでも職員は閲覧可能です。各種研修に参加した職員が伝達研修しています。		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
① 児童館(放課後児童クラブ)活動の質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。		a	s
② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。		a	s
指定管理者 記入欄	①児童館、学童クラブの活動については各主任を中心に進めていけるように館長はバックアップしている。日々の業務終了時には主任に声をかけその日の様子や悩みなどを聞くようにしている。また、職員からの提案に対し意欲的に取り組めるようにコーディネートしている。 ②経営についてはいつでも確認が取れるよう、法人本部のシステムを活用し、適宜改善指示や聞き取りを行っている。実務の実効性を高めるために、児童館や施設の成功事例を共有している。		
評価機関 記入欄	①館長は、幼稚園・児童館・学童クラブで豊富な経験を有しています。また当施設における館長としての経験も6年に及びます。墨田区内小中学校の運営連絡協議委員としての経験も豊富にあります。また、近隣の団地の皆さんとも顔の見える関係を構築し、公共施設として地域包括的な役割も意識しています。実際に課題のある高齢者への対応にも尽力しています。 ②児童館・学童クラブにそれぞれ主任を配置し、各施設の取組みを俯瞰的かつ連携させながら指導・検証しています。毎日の昼会議や毎月の団会議で課題を明確にし、改善策を主任や職員から導けるように配慮している点を評価します。		

墨田区立児童館 評価基準項目評価シート

		自己 評価	第三者 評価
Ⅱ-2 福祉人材の確保・養成		A	A
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。			
①	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	s
②	総合的な人事管理が行われている。	b	a
指定管理者 記入欄	①人材確保は法人本部はもちろん施設単体でも行っている。教育実習生の受け入れや就労支援生の受け入れをしている。また、地域からの人材確保、育成にも積極的に取り組んでいる。 ②採用、配置、評価を館長、主任で共有したり、事業本部も交えて共有することで人事の管理をしている。		
評価機関 記入欄	①人材確保で特筆できる点は、元利用者が職員として3名勤務していることでしょう。地域懇談会で声かけをして地域の方からの人材確保にも取り組んでいます。教育実習生は年2～3回(1回につき2週間程度)、就労支援生を年2～3件受入れています。実習生受入れの際は、担当職員を配置しています。類似施設の経験者だけでなく、海外青年協力隊の経験者等幅広い視野で人材確保に取り組んでいます。 ②現場職員の採用は現場が主体となって取り組んでいます。職員面談を実施し各自の要望をヒアリングしています。ワーカースという労働形態のため、職位や給与に連動する人事評価制度はありません。ワーカースという働き方の意義を職員に周知しています。法人本部で人事についての会議を行い、各自の希望を反映するように調整しています。シフト管理等をしやすいための業務支援システムや勤怠管理システムは本部が構築しています。		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
①	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a	a
指定管理者 記入欄	①採用時に働き方について相談をしてシフトを作成している。個々の家庭環境等を踏まえた労働環境の整備をしている。残業が発生した場合べつのひに勤務時間を短縮できるような工夫も取り入れている。		
評価機関 記入欄	①毎月のシフトは、シフト希望を聞いてから作成しています。法人本部の取組みとして「ストレスチェック」があります。「相談通報窓口」「何でも相談窓口」「産業医の面談」も整備されています。		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			
①	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	a
②	職員の研修に関する基本方針や計画が策定され、研修が実施されている。	a	a
③	職員一人ひとりの研修の機会が確保されている。	a	a
指定管理者 記入欄	①面談時に目標・課題を設定している。一定期間後に達成度の確認を行っている。 ②毎月の全体会議の中で事例検討等の研修を取り入れている。また、墨田区や東京都、法人内の研修、外部研修に積極的に参加できるように周知している。 ③研修担当者が研修の周知を積極的に行っている。職員からの要望があった場合はシフトを調整して参加できるようにしている。また、館長や主任が必要と思われる研修があった場合は、個人的に伝え参加させている。		
評価機関 記入欄	①職員各自ヒアリングシートに自己評価を記載し、自らの目標管理を明確にしています。年2回職員面談を実施しています。 ②年度の研修計画があり、新人、リーダー基礎、専門、14館が合同の館長研究会を実施しています。 ③年度事業報告書に研修報告があります。勤務経験に合わせて適切な研修を受講しています。墨田区主催の研修や、法人本部の専門研修も受講しています。放課後児童支援員認定取得に向けた研修にも対象者を受講させています。		

墨田区立児童館 評価基準項目評価シート

		自己 評価	第三者 評価
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。			
①	実習生等の児童館(放課後児童クラブ)活動に関わる専門職等の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	a
指定管理者 記入欄	①積極的に受け入れを行っている。実習受け入れ担当者を配置し受け入れ時には実習前オリエンテーション、毎日の振り返りの時間を設けている。受け入れ前には実習中の注意事項を実習生と確認しサインをもらうようにしている。		
評価機関 記入欄	①実習生の受入れは、令和5年度1名 令和6年度2名受け入れています。(令和6年度は、大規模改修の予定があったためご遠慮願った案件もあります)担当者を配置し、きめ細かく実習生の実習目的の明確化、ふりかえり、課題の導出、改善指導をPDCAマネジメントに配慮して受入れています。若者の就労支援施設「ワークスタート」の実習を定例的に受け入れています。		
Ⅱ-3 運営の透明性の確保		A	A
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。			
①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	a
②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組(モニタリング等)が行われている。	a	a
指定管理者 記入欄	①児童館の年3回行っている地域懇談会で情報の公開を行っている。 ②墨田区によるモニタリングを実施している。		
評価機関 記入欄	①地域懇談会を年3回実施しています。その中で児童館が子どもたちの居場所になっていることや様々な関係機関と連携していることを伝えています。地域懇談会には、地域住民、民生児童委員、自治会長、近隣の保育園、幼稚園園長、学童クラブ父母の会代表、近隣高齢者施設長と、様々な立場の方が参加しており、児童館の活動への理解が深まったと感想を頂いています。学童クラブは、保護者会を年3～4回開催しています。保護者会では、映像で普段の様子を紹介しています。 ②墨田区所管課のモニタリングは年1回実施しています。利用者アンケートを毎年実施しています。令和6年度から法人の児童館・学童部門の相互監査の実施があります。		

墨田区立児童館 評価基準項目評価シート

		自己 評価	第三者 評価
Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献		A	S
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。			
① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。		a	s
② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。		a	s
指定管理者 記入欄	①年3回行っている地域懇談会には近隣の町会長、自治会長、民生委員、小中学校長、保育園園長の他近隣の高齢者施設施設長、子どもの居場所作りをしている団体など多彩な方に参加していただいている。児童館や学童クラブの子どもの様子を写真や動画で見えていただいたり、児童館から見える地域の課題や特徴的な取り組みを伝えている。また、小学校、幼稚園の運営協議会にも参加して事業への協力を依頼している。 ②ボランティアも積極的に受け入れている。週間行事である「卓球タイム」には卓球サークルの方に数名子ども達に卓球を教えていただいている。		
評価機関 記入欄	①運営委員会と別に地域懇談会を開催しています。メンバーは、隣の町会長、自治会長、民生委員、小中学校長、保育園園長の他近隣の高齢者施設施設長、子どもの居場所作りをしている団体等、様々です。施設の様子を伝えるために、写真や動画を作成している点も評価できます。周辺団地の皆さんとは顔に見える関係を構築し、高齢者が困っている時はサポートする等、日々の取組みが顕著です。 ②地域の卓球サークルの方数名に週間行事である「卓球タイム」の講師ボランティアに参画して頂き、子ども達に卓球を教えて頂いています。園芸活動「やさいそだて隊」も地域の方に参画頂いています。食支援ネットワークも学童の活動を支援しています。		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。			
① 児童館(放課後児童クラブ)として必要な社会資源を明確にし、関係機関(墨田区、児童相談所、子育て総合支援センター、要保護児童対策地域協議会)等との連携が適切に行われている。		a	a
指定管理者 記入欄	①関係機関とは適宜連携をとっている。特に子育て支援総合センターや児童相談所とはケース会議に参加したり、面談場所に児童館を利用できるようにしている。		
評価機関 記入欄	①地域懇談会のメンバーは、小中学校長、民生児童委員、町会長等を迎え、連携しています。子育て支援総合センターや児童相談所とは特に連携を密にし、援助が必要な案件については、ともに課題解決に取り組んでいます。		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。			
① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。		a	a
② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。		a	s
指定管理者 記入欄	①日常から利用者に声をかけることを重視し、そこからニーズを把握している。また、年度末には利用者アンケートを実施して意見や要望等からもニーズを把握している。 ②自主事業として「チャイルドサポート」「ベビーサポート(乳幼児一時預かり事業)」「こはなちゃんくらぶ(学童クラブ補完事業)」を以前から行っている。 民生委員が中心として行っている「たちばな地域食堂」と連携して地域の食支援に貢献している。また、地域懇談会の参加者と一緒にコロナ禍に「One SUMIDA Project」を立ち上げ活動を続けている。		
評価機関 記入欄	①地域懇談会は、こちらからの報告に留まらず、参画者の意見や要望等も伺っています。「子ども食堂」についてのニーズを収集しました。一方小学校、幼稚園の運営協議会にも館長が参加し、それぞれの取組みや課題を共有しています。 ②子ども食堂を開催したいという意見が出ました。しかし、児童館では、不特定多数の人に食事提供ができないという状況もあり、申込み制の食事提供イベント「お食事会」を開催しました。子どものみならず高齢者のニーズも高いことが判明し、地域の方からも賛同の声が多く、「地域食堂 実行委員」を立ち上げていこうという話になり、令和3年度から高齢者・外国人・子育て世帯の孤立防止、見守り強化のため、課題意識を共有するみんなでそれぞれ1割の力を持ち寄って、知識やつながりによって解決していくことを目的として活動している「One SUMIDA Project」の実行委員会のメンバーとして、尽力しています。		

墨田区立児童館 評価基準項目評価シート

		自己評価	第三者評価
児童館第三者評価 共通評価基準			
Ⅲ 適切な福祉サービスの実施		A	A
Ⅲ-1 利用者本位のサービス		A	A
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
	① 利用者を尊重した児童館(放課後児童クラブ)活動について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	a
	② 利用者のプライバシー保護に配慮した児童館(放課後児童クラブ)活動が行われている。	a	b
指定管理者記入欄	①「学童クラブ運営指針」や法人の「子育て指針」に基づいて育成できるように全体会議等で読み合せをしている。事務室には「児童館ガイドライン」や「学童クラブ運営指針」「墨田区児童館のありかた」等の資料をすぐに見られる場所に置いている。 ②学童クラブでは年度のはじめに写真の取り扱いについて保護者に確認している。児童館利用者には緊急時連絡票に使用の有無を確認している。		
評価機関記入欄	①「学童クラブ運営指針」や法人の「協同労働の協同組合7つの原則」「協同労働の子育て指針」を全体会議等で読み合せをしています。昼会議で前日の報告や課題、今日の予定、見守りが必要な利用者等の情報共有を徹底しています。 ②「ワーカーズコープ個人情報保護規定」があり墨田区個人情報保護条例を遵守し、利用者のプライバシー保護に留意しています。		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。			
	① 利用希望者に対して児童館(放課後児童クラブ)を利用するために必要な情報を積極的に提供している。	a	a
	② 児童館(放課後児童クラブ)活動の開始・変更にあたり利用者にわかりやすく説明している。	a	b
指定管理者記入欄	①毎月の児童館だよりや学童クラブのおたよりに情報を掲載している。児童館だよりはホームページに載せる他に近隣小学校で全校配付している。学童クラブ申請時期には「学童クラブ説明会」を行い各学童クラブの特色などを伝えている。 ②学童クラブの入会決定後に「利用説明会」を実施している。その際入会のしおりを配付して説明している。行事の変更等については学童クラブでは「連絡帳」や一斉メール配信、令和6年度からアプリ「安心でんしょばと」を導入し、使用している。児童館ではホームページや館内ポスターで周知するようにしている。申込制の事業については電話で申し込みを受付けている。今後はメールでの申し込みを受付けられるようにしていく。		
評価機関記入欄	①毎月児童館だより・学童クラブのおたよりを其々発行しています。児童館だよりは近隣小学校(2校)に配付しています。 ②学童クラブの「学童クラブ説明会」では子ども達の様子を写真等を活用して具体的に伝えています。		

墨田区立児童館 評価基準項目評価シート

		自己 評価	第三者 評価
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている			
① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。		a	a
指定管理者 記入欄	①毎年年代別に利用者アンケートを実施している。アンケートや日頃からの意見箱の声等日常的な利用者ニーズに関しては日々の昼会議や児童館申し送りで共有、検討、改善を行っている。また、月1回「子ども会議」を行い子どもたちが児童館の運営に参画できるようにしている。学童クラブでは連絡帳やお迎え時、個人面談等で出た意見を元に全体会議や学童会議等で改善策を話し合っている。		
評価機関 記入欄	①月1回子ども会議を開催しています。この会議で意見からお泊り会を実施しています。イベントに合わせ中高生会議も開催しています。事業「こどもえんにち」に代表される様に、事業は単に施設が提供するというより、こども参画型で子どもの意見を反映させています。学童クラブは、保護者会を開催しています。		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。		a	a
② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。		a	a
③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。		a	a
指定管理者 記入欄	①苦情対応窓口を利用者が把握できるよう苦情解決体制表を受付前に掲示している。 ②意見箱を設置し、随時意見が述べられる環境を整備している。相談があった場合は個室を利用しプライバシーに配慮している。 ③日頃から意見や相談があった場合は昼会議で共有、検討している。児童館だけで返答できない内容については担当課、法人本部とも連携して対応している。		
評価機関 記入欄	①③苦情解決体制表を掲示しています。施設における苦情責任者は、館長です。法人事業本部総合対策・業務監査室には事業本部苦情対応責任者がおり、さらに法人本部総合対策室に法人苦情管理責任者、更には法人に苦情第三者委員も配置しており、組織的に苦情対応の仕組みを構築しています。また、相談内容によっては、関係機関と迅速に連携しています。 ②ご意見箱を設置しています。児童館では幼児保護者からは職員との雑談の中から相談に至るケースが多く、職員は適切に対応しています。学童クラブは連絡帳やお迎えの時に保護者からの相談があることが多く、職員には対応の仕方を周知しています。		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービス提供のための組織的な取組が行われている。			
① 安心・安全な児童館(放課後児童クラブ)活動の提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。		a	a
② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。		b	b
③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。		a	a
指定管理者 記入欄	①安全管理危機対応マニュアル、フローチャートを元にリスクマネジメントについて体制を整えている。昼会議では各現場で起こったヒヤリハット等を共有して意識を高められるようにしている。 ②各部屋に消毒液を設置している。児童館、学童クラブに嘔吐物処理セットを配置している。学童クラブではおやつや昼食の前に必ず手洗い、手指の消毒を行っている。感染者が増えたときには「おたより」や「ホームページ」で注意喚起を行っている。 ③避難訓練計画を立て実施している。職員のための訓練、利用者参加訓練がある。		
評価機関 記入欄	①本部で作成した管理危機基本マニュアルがあります。昼会議では都度ヒヤリハットを口頭で伝えています。法人の危機管理部会の会議に毎月参加し、情報や事例共有しています。業務日誌にはヒヤリハットを記載する欄があります。 ②児童館、学童クラブ其々に嘔吐物処理セットを置いています。 ③児童館(年3回)・学童クラブ(毎月)に防災・防犯・避難訓練年間計画を作成しています。3月には全施設合同地震津波想定避難訓練(UR団地の避難への避難)を実施しています。災害時のマニュアルを所管課と共有しBCPも作成しています。		

墨田区立児童館 評価基準項目評価シート

		自己 評価	第三者 評価
Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保		A	B
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。			
①	児童館(放課後児童クラブ)活動について標準的な実施方法が文書化され活動が提供されている。	a	b
②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	a
指定管理者 記入欄	①定型のフォーマットに企画書、報告書を作成している。児童館活動内容やルールを明文化して館内に掲示したり、パンフレットに記載したりしている。 ②事業終了後報告書を作成し、評価と改善点を記入している。その後年度報告、次年度計画を立てる時期に精査している。		
評価機関 記入欄	①各事業は、計画書・報告書に実施の流れを明記しています。またふりかえりも記載され次の実施に役立てています。 ②各事業担当者は、報告書に記載しふりかえりを行い、ブロック会議・団会議等で共有し、課題や成果を分析しています。		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。			
①	個々に支援が必要な利用者に対する個別の援助計画を適切に策定している。	a	a
②	定期的に個別の援助計画の評価・見直しを行っている。	a	b
指定管理者 記入欄	①学童クラブ児童で個別支援、見守りが必要な児童については、承認前に利用審査会を開き支援方法を決定している。個別支援が必要な児童に関しては全体会議で職員全体で共有する時間を設けている。必要ならば関係機関と連携して対応している。 ②学童クラブでは、毎年心理相談員の巡回指導がありその時に細かい学童クラブでの児童の様子をお伝えしてアドバイスをいただいている。また、当日の児童の様子をみていただきその場でも支援方法についてアドバイスをいただいている。その後職員全体で情報を共有して支援に活かしている。		
評価機関 記入欄	①個別支援が必要な事案については、全体会議で共有しています。また場合によって、個別に記録を残しています。 ②学童クラブの業務日誌には、個別の課題について記載し職員間で迅速に共有し、援助に活用しています。所管課から心理相談員が年9回 継続的に相談にのってくれており、アドバイスを受けています。		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。			
①	児童館(放課後児童クラブ)活動の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有されている。	a	s
②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a	b
指定管理者 記入欄	①日々の活動については「業務日誌」「児童館日誌」「学童日誌」に記録している。行事は「企画書」「報告書」を使用して記録している。 ②児童館利用の際は年度のはじめに緊急連絡票を提出してもらい施錠のできる書棚で管理している。その他も利用者の記録も施錠のできる書棚で管理している。		
評価機関 記入欄	①全体業務日誌・児童館日誌・学童クラブ日誌が其々あり記録しています。事業ごとに企画書と報告書があります。これらを総括した年度事業報告書は、総括・次年度への展望も各項目について記載されており高く評価できます。 ②個人情報、施錠できるキャビネットに保管しています。		

墨田区立児童館 評価基準項目評価シート

		自己 評価	第三者 評価	
児童館第三者評価 内容評価基準				
A 児童館の活動に関する事項		A	A	
A-1 児童館の施設特性		A	A	
	①	施設の基本特性が児童館の理念と目的に基づいて設定されている。	a	a
	②	児童館の特性である、拠点性、多機能性、地域性を発揮している。	a	s
	③	子どもの権利を保障するための取組が徹底されている。	a	a
	指定管理者 記入欄	①子どもたちの意見を取り入れながら遊びの内容を決めたり、行事を決めたり、子どもたちが来たいと思える場所として「子どもの最善の利益」となるための事業を行っている。 ②立花地域の子どもの居場所となっている。特に不登校気味の子どもや家庭全体の支援が必要な親子の居場所として機能している。関係機関との連携も密に行い地域全体で子どもを見守る体制を作っている。 ③子ども一人ひとりの人権を尊重すると共に子どもの意見やニーズを事業に反映する取り組みをしている。具体的には小学生のスマートフォン使用方法についてやカードゲームのやり方についてを「子ども会議」を開き子ども達と相談して決定した。		
	評価機関 記入欄	①乳幼児と保護者がいつでも来館しくつろぎ、また相談や仲間づくりができるように、遊具の配置や事業に留意しています。小中高生にとっては、ひとりでまた友達といつでも来館でき、くつろぎ・遊ぶように図書やマンガやボードゲームを充実させ、事業は子どもの意見を取り入れていきます。 ②保護者とともに来館する乳幼児から高校生まで、幅広い年代が来館しこども達の居場所として機能しています。特に課題や支援が必要な家庭とは子育て支援総合センター や児童相談所等の関係機関と連携しながら、重要な居場所として機能しています。学校や家庭に居場所をみつけれない子ども達も地域の中で育む拠点となるように、地域懇談会で情報を共有し理解を深めてもらうように取り組んでいます。地域商店に協力頂いて事業「子ども商店街」を実施したり地域連携も活発です。近隣に公共施設がないために、子ども達のみならず地域の高齢者の方の拠り所として、見守りや相談にも対応しています。 ③こどもの権利条約を掲示し、意識の啓発を図っています。特に小学生の利用において、ゲーム機の利用等、課題と感じられることがある場合は、都度子ども会議を開催し子ども達と十分協議してルールを決めています。		
A-2 遊びによる子供の育成		A	A	
	①	子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。	a	a
	②	子ども自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。	a	a
	③	子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるようにしている。	a	s
	指定管理者 記入欄	①乳児クラスは発達段階に分けてプログラムの企画を行っている。小学生以上の利用者に関しては特性を理解するように努め必要な時は保護者や関係機関と連携している。学童クラブでは、心理相談員の巡回の際にアドバイスをいただき一人ひとりの発達に合わせた声かけや支援を行っている。また、子どもたちの発達を理解できるように研修に参加したり、日々の振り返りなどで職員間で共有している。 ②子どもたちの様子を見ながら必要とする時に助言をしたり、環境を整えたりしている。立花児童館は平屋でスペースが限られているが、臨機応変に施設を使うようにしている。 ③異年齢が関わりを持てるように配慮している。小学生以上が対象のイベントでは保護者同伴ならば未就学児の参加もできるようにしている。日常の遊びに関しても異年齢が一緒に行えるように環境や声かけをしている。		
	評価機関 記入欄	①乳児クラスは、4つの月齢に対応したクラスを設けてプログラムを実施しています。配慮が必要と考えられる利用者については、子ども家庭支援センターに繋いでいます。業務日誌や昼会議で全職員に情報を共有しています。 ②子ども自ら遊びを作り出したり選択したりできるように、できる限り受付での貸出し制にはせず、ボードゲーム等は整頓して子ども達が手にとりやすい所に収納しています。 ③たちばなこどもえんには、こどもスタッフによる実行委員会制で運営しています。令和5年度には、それまで4年生以上の年齢制限だったのを低学年も参加可能とし、異年齢での子ども達のかかわりが増加し、リーダーシップの持ち方にも子ども自ら気づきを得ています。		

A-3 子供の居場所の提供		A	B
	①	子どもが安全に安心して過ごせる居場所になるよう環境づくりや援助を行っている。	a
	②	中・高校生世代の利用に対する援助がある。	b
	指定管理者 記入欄	①開館前、閉館後に日常点検を行っている。また、柱や角にはコーナーガードをつけ安全面に配慮している。独立した乳幼児室はないが、乳幼児が落ち着いて過ごせるように囲って場所を作っている。 ②18時以降は中高生優先の時間としている。また、18時前でも小学生世代と一緒に過ごせるように配慮している。体育室でのドッジボールやボードゲーム等は世代を超えて一緒に楽しむ姿が多い。しかし、ハード面で中高生がゆっくりすごせる場所がないことが課題である。	
	評価機関 記入欄	①子どもがくつろいだり、遊んだりするスペースは一定程度確保されていますが、指定管理者の責によらないものの老朽化がすすみ、補修や安全への配慮箇所が利用者の目につく場所に多く存在します。(令和6年修繕実施。現地訪問日は着工前)中高生が寛いだり主に利用できるスペースが限られている点が課題です。 ②中・高校生世代は、話し相手や仲間を求め、児童館を自分の居場所として利用することが多くなってくることに留意し、職員間で利用の多い子どもの情報共有を適切に対応しています。不登校の中学生の居場所ともなっている事例があります。	

A-4 子どもの意見の尊重		A	S
	①	子どもの年齢及び発達に応じて子どもの意見を尊重している。	a
	②	子どもの意見が運営や活動に反映されている。	s
	指定管理者 記入欄	①毎年1回小学生、中高生別に利用者アンケートを実施して意見を聞くようにしている。職員は子どもたちの発達や年齢に合わせたコミュニケーションを意識して接している。 ②意見箱を設置して意見を集めている。また、日常生活や遊びの中で子どもたちの意見を聞き、そこから出た意見を取り入れて遊びを展開したり、行事を行ったりしている。	
	評価機関 記入欄	①職員研修の中で傾聴力・共感力を学んでいます。同研修の中で個々の発達に合わせた成長を見守る視点についても学ぶプログラムを設けています。小学生と中高生別に実施する利用者アンケートやご意見箱、また日頃から子どもの様子や意見に留意して対応しています。 ②各事業実施後は、子どもの意見を聴取したり、事業の様子を観察したりして子どもの意見や要望を収集し、次の開催の改善に取り入れています。こども会議を開催して、スマホの使い方やカードゲームのルールを決める等、子どもの意見を活動に反映しています。	

A-5 配慮を必要とする子どもへの対応		A	S
	①	配慮を必要とする子どもへの対応を行っている。	a
	②	子どもの活動の様子から必要があると判断した場合には、家庭と連絡を取って支援を行っている。	a
	指定管理者 記入欄	①学童クラブについては、配慮を必要とする児童がいた場合、心理相談の対象かつ、区の利用審査会にかけ、個別支援か見守りの判断を行っている。その他でも配慮が必要だと思われる子がいた場合は、関係機関と連携して対応している。 ②連絡が必要な場合は、保護者面談を行っている。必要に応じて学校や関係機関と支援方法を共有している。	
	評価機関 記入欄	①配慮を必要とする子どもについて、関係機関からの依頼を受け、複数案件について継続的に見守りを行っています。職員全員が情報を共有できるように記録も工夫して丁寧に行っています。また、状況によっては然るべき機関に繋げる対応も行っています。 ②学童クラブ併設の児童館のため、特に小学生については学童クラブ・児童館の境なく、気にかかる子どもに対しては学校と情報を共有したり、保護者に連絡をとるように配慮しています。	

A-6 子育て支援の実施			A	S
		① 保護者の子育て支援を行っている。	a	s
		② 保護者と協力して乳幼児支援を行っている。	a	a
	指定管理者 記入欄	①乳幼児クラスでは年齢による発育の違いを考慮して年齢別にクラスを細かく設定している。その際保護者同士がつながり、交流ができるように職員は配慮している。日常的な会話の中から保護者の悩みに寄り添えるようにしている。 ②乳幼児向けの講座を月1回以上行っている。その際保護者が自分の得意なことを活かし講師をしてくれることもある。		
	評価機関 記入欄	①1 歳から入園前までのお子さん対象に一時預かりをする「ベビー・サポート」事業を実施しています。小学 1 年生～6年生の緊急預かり「チャイルド・サポート」や学童の補完事業として児童館小学1年生～3年生の一時預かり「こはなちゃんクラブ」も実施しています。 ②保護者の孤立化を防ぎ、保護者が第二のおうちのようにホッとする場をつくることを運営方針の一つに掲げています。0才児クラスの「ママトーク」幼稚園・保育園に通園させている保護者から話を聞く「幼稚園ママトーク」を開催しています。保護者が講師となり、ビーズ工作等の講座も開催しています。		

A-7 地域の健全育成の環境づくり			A	S
		① 地域の健全育成の環境づくりに取り組んでいる。	a	s
		①近隣小学校、幼稚園の運営協議会への参加、年3回行っている地域懇談会には地域の町会長、自治会長、小学校長、幼稚園、保育園園長、民生児童委員、子どもの居場所作りを行っている団体、高齢者施設など多岐にわたる方に参加していただき、児童館や学童クラブ、地域の子どもたちを取り巻く状況について情報共有、情報交換を行っている。 民生委員が中心として行っている「たちばな地域食堂」と連携して地域の食支援に貢献している。また、地域懇談会の参加者と一緒にコロナ禍に「One SUMIDA Project」を立ち上げ活動を続けている。		
	評価機関 記入欄	①年3回行っている地域懇談会は子育て関係の機関のみならず、町会長や自治会、高齢者施設の代表の方にも参加して頂いています。子ども達を取り巻く現状や児童館や学童クラブの様子を伝えることで、地域の大人達も子ども達に関心をもって頂けるように取り組んでいます。 民生委員が中心として行っている「たちばな地域食堂」と連携して地域の食支援に貢献しています。また、地域懇談会の参加者と一緒にコロナ禍に「One SUMIDA Project」を立ち上げ活動を続けています。文花児童館等と類似事業の実施が重ならないように調整しています。		

A-8 ボランティア等の育成と活動支援			A	A
		① 子どもを含めたボランティア等の育成と活動支援を適切に行っている。	a	a
		①「たちばなこどもえんにち」では小学校2年生以上の実行委員を募集して準備から当日の運営、片付けまでこどもたちと一緒に取り組んでいる。ドッジボール大会のコーチや引率を中高生ボランティアが率先して行ってくれたり、OBOGがきてくれたりしている。 地域の方が野菜作りを教えてくれたり、卓球サークルの方に卓球を教えてもらったりしている。		
	評価機関 記入欄	①「たちばなこどもえんにち」は、実行委員会制度をとり子ども達が参画して事業を実施しています。		

A-9 子どもの安全対策・衛生管理			A	A
	① 子どもの安全対策・衛生管理を行っている。		a	a
	指定管理者 記入欄	①毎日の昼会議で各学童、児童館からヒヤリハット、事故を共有し、再発防止について話し合っている。また、月1回の法人本部が主催している「危機管理会議」に担当者が出席している。衛生管理に関してはこまめな清掃、消毒液の設置などを行っている。		
	評価機関 記入欄	①安全チェックリストを兼ねて遅番締め作業チェックリストを活用し、ダブルチェック体制で確認しています。また、日常清掃チェック表もあり衛生管理をしています。毎日の昼会議で前日ヒヤリハット事項を職員全員で共有しています。また、月1回の法人本部の危機管理会議においても類似施設のヒヤリハット事項や事故及びその対応を共有し、施設職員にも情報を下ろすことにより、危機管理の意識高く取り組んでいます。		

A-10 学校・地域との連携			A	S
	① 学校・地域との連携を行っている。		a	s
	② 運営協議会が設置され、機能している。		a	a
	指定管理者 記入欄	①学校とは、入学式や卒業式に参列したり、運動会や学校公開などには職員が参加している。子どものケース事案によっては必要時には情報共有を行っている。地域とは地域懇談会で児童館の様子をお伝えしたり、地域での子ども達の様子を聞いたりしている。年度最後の地域懇談会では典型的な事例をお伝えして児童館が地域の子育て拠点になっていることをお伝えしている。 ②近隣小学校、幼稚園の運営協議会への参加、年3回行っている地域懇談会には地域の町会長、自治会長、小学校長、幼稚園、保育園園長、民生児童委員、子どもの居場所作りを行っている団体、高齢者施設など多岐にわたる方に参加していただき、児童館や学童クラブ、地域の子どもたちを取り巻く状況について情報共有、情報交換を行っている。		
	評価機関 記入欄	①コロナ禍での自粛を経て、令和5年度は小学校の卒業式、幼稚園の修了式に参列しています。運動会等にも職員は訪問し、子ども達の学校での様子にも気を配っています。配慮が必要であったり、学校には不登校でも児童館に来館する児童もあり、学校とは密に連携をとっています。 ②地域懇談会を年3回実施しています。小学校長、幼稚園、保育園延長、民生児童委員、子どもの居場所作りを行っている団体、高齢者施設等、子育て関係施設のみならず、地域の町会長、自治会長や高齢者施設の方にも参加頂き、広く地域の課題を共有する場としても機能しています。		

墨田区立児童館 評価基準項目評価シート

		自己 評価	第三者 評価
放課後児童クラブ第三者評価 内容評価基準			
B 放課後児童クラブの活動に関する事項		A	A
B-1 育成支援の内容		A	A
B-1-(1) 放課後児童クラブにおける育成支援の基本			
① 子どもが放課後児童クラブに自ら進んで通い続けられるように援助している。		a	a
② 子どもの出欠席を把握し、適切に援助している。		a	a
③ 子どもの安全や生活の連続性を保障している。		a	a
指定管理者 記入欄	①1年を4期に分け事業目標を立てて育成をしている。また、毎日楽しく通うことができるように、誕生日会や買い物おやつ、3年生お泊まり会、夏休みの遠足などの行事を行っている。また、家庭では行うことが難しい「スライム作り」や「手芸」なども取り入れている。 ②出席簿やマグネットを活用して出欠席を把握している。休みの連絡は「連絡帳」と「電話」で行っているが、今後はメールでの連絡もできるようにしていく。 ③天候が悪くなった時や不審者情報が出た時などは保護者へ連絡してお迎えを要請している。放課後安全に過ごせる場所として環境設定をしている。一日の流れを立て生活の場所としての役割を果たしている。毎日の育成の後に職員間で振り返りを行い次の日の育成に活かすことで子どもたちの生活の連続性を保てるようにしている。		
評価機関 記入欄	①子どものみならず保護者との信頼関係が子どもの通所意欲にも繋がると把握し、連絡帳やお迎えの時を活用し保護者とのコミュニケーションをよくもつようになっています。裁縫やレゴ、読書等子ども自らの興味関心を尊重した遊びや体験ができるように配慮しています。学童まつり・遠足・お泊り会等、多彩な事業を実施し、子ども達の参画意識を向上させています。 ②現地訪問日時は、オンラインでの入退室システム・出席簿・入退出確認ボード・連絡帳の複数確認体制でした。秋以降は、入退室管理システム「安心でんしょばと」に統一されます。移行に適切に対応しました。 ③学習、遊び、おやつの時間と基本となる一日の流れのプログラムを立案しています。学校の行事や長期休暇に配慮しながら、事業計画を立案しています。		

B-1-(2) 子ども一人ひとりと集団全体の生活を豊かにする育成支援			
	①	子どもが安心して過ごせる生活の場となるよう工夫している。	a b
	②	子ども自身が見通しを持って主体的に過ごせるように援助している。	a a
	③	日常生活に必要となる基本的な生活習慣を習得できるように援助している。	a b
	④	子どもが発達段階に応じた主体的な遊びや生活ができるように援助している。	a a
	⑤	子ども同士の関係を豊かに作りだせるように援助している。	a a
	⑥	子どもが自分の気持ちや意見を表現することができるように援助している。	a a
指定管理者 記入欄	①子どもたちが安心して過ごせるように環境を整えている。人数に対して部屋が狭いため体調が悪くなった時や落ち着きたい時にいられる場所がない。 ②一日の流れが把握できるようホワイトボードに記入している。帰り時間も子ども自身で管理できるように登室時に職員と確認するようにしている。 ③手洗いやうがい、挨拶、片付けなど基本的な生活習慣が身に付くような支援をしている。 ④学童クラブ内だけでなく、児童館にも自由に出られる時間を多く設け、子どもたちが主体的に遊びを選んだり、自分達で作り出したりできるようにしている。また、学童室内では手芸や裁縫、アイロンビーズなど集中して行う遊びも展開している。 ⑤3年生を中心にイベントの流れを決めたり準備をしたりしている。学年、学校、性別偏らない班編成をすることで、子どもたちが豊かな関係性を育めるように配慮している。職員はサポートに徹し子ども達自身で決めていけるよう支援している。 ⑥子どもからの話をたくさん聴くことを大切にし、子どもたちが自分の思っていることなどを遠慮なく言えるよう個々への働きかけをしている。また、職員だけでなく友達同士でも安心して思っていることが言え、受け止められるよう子ども会議を行ったり、けんかになったときに職員が仲介して双方の意見が言える場を設けたりしている。子ども達同士で話し合い、決定し、達成感を味わえるよう支援している。		
評価機関 記入欄	①安全チェックリストを作成し、日々遊具、施設に破損・劣化がないか点検しています。体調が悪くなった時や気分を落ち着かせたい時に使用する部屋がないことが課題です。 ②一日の流れをホワイトボードに示し、子ども達に周知し、子ども達が見通しをもって過ごせるように支援しています。長期休みの活動は別に時間割をつくっています。どちらも学習と遊び(個人・集団)のメリハリがつくように配慮しています。 ③おやつや長期休みの時の食事の時は、準備・片付けも子ども達に意識付けをしています。挨拶や手洗いといった生活習慣や清掃についても言われてから行うのではなく習慣となるよう指導しています。 ④児童館施設も利用し、子ども達が互いの関わりの中で主体的に遊びを展開していくように導いています。 ⑤班活動を取り入れ、子ども同士で協議しながら取り組めるように指導しています。 ⑥学童クラブの日誌は、子どもの様子や配慮した方が良い点を記録し、職員間で共有し、職員全員が同じ認識をもって対応するように配慮しています。子ども自ら意見を言えるように配慮しています。		

B-1-(3) 固有の援助を必要とする子どもへの適切な育成支援				
①		障がいのある子どもの受入れの考え方を理解し、可能な限り受入れに努めている。	a	b
②		障がいのある子どもの育成支援に当たっての留意点を理解し、育成を支援している。	a	b
③		特に配慮を必要とする子どもへの対応に当たって、関係機関と連携して適切な支援を行っている。	a	a
指定管理者 記入欄		①障がい児の受け入れに関しては、申請があった時点で面談、出身園へ出向き聞き取りを行う。その後審査会を経て受け入れが決まる。現在はないが施設面や職員配置の関係ですべての児童を受け入れが困難な時もある。 ②毎年心理談員の巡回指導がありその時に細かい学童クラブでの子どもの様子をお伝えしてアドバイスをいただいている。また、当日の児子どもの様子をみていただきその場でも支援方法についてアドバイスをいただいている。その後職員全体で情報を共有して支援に活かしている。 ③巡回指導の他適宜出身園や小学校、その他関係機関と連携して支援に活かしている。		
評価機関 記入欄		①②現在身体的な障がいがあり特別な配慮を必要とする子どもの受入れはありませんが、年度はじめの申請時にはご希望がある場合は各機関とも調整し、適切に対応しています。 ③障がい児認定には至らないものの、配慮が必要な子どもの受入れがあります。これまでの経験やその子の個性を把握し、対応しています。虐待等の心配がある場合は、子ども家庭支援センターと適切に連携しています。		
B-1-(4) 適切なおやつや食事の提供				
①		放課後の時間帯に栄養面や活力面から必要とされるおやつを適切に提供している。	a	s
②		おやつや食事提供時の食物アレルギー事故、窒息事故等を防止するための対応を行っている。	a	a
③		おやつや食事に関する衛生管理を適切に行っている。	a	a
指定管理者 記入欄		①菓子類だけでなく、簡単な手作りおやつやフルーツなどを取り入れ栄養面を配慮している。月1回お買い物おやつを実施している。 ②入会前に調査票を記入していただき、食物アレルギーのある場合保護者からの聞き取りをし一覧表にして冷蔵庫に貼り、おやつの準備の時に確認できるようにしている。おやつは購入時、提供時共にダブルチェックを行っている。食べるときは必ず水分補給をするように子ども達には伝えている。また、研修にも参加している。 ③おやつの前には手洗い、消毒の徹底を子ども達に伝えている。また、おやつを適切に管理、賞味期限の確認もこまめに行っている。		
評価機関 記入欄		①手作りおやつ(軽食)やフルーツも提供しています。同法人で食に関して連携できる法人があるため、バラエティに富んだおやつの提供を可能にしています。 ②令和5年度は・食物アレルギーを持つ児童への対応として、アレルギー品目を含む関係した全てのおやつを除去し、同一のおやつを飲食できるようにし、提供することとしました。 ③区の定める『食の提供(衛生管理)の手引き』に基づいて衛生管理を行っています。		
B-1-(5) 安全と衛生の確保				
①		子どもの安全に関する環境を整備している。	a	a
②		衛生に関する環境を整備している。	a	b
指定管理者 記入欄		①育成前に施設の点検と共に打合せを行い環境整備を行っている。また、地震対策として棚の転倒防止、扉が開かないようにするなど整備している。 ②おやつ前には消毒液を使い机を拭いている。おやつ前の手洗い、消毒も徹底して行っている。清掃は毎日行くと共に子ども達には整理整頓の意識がつけられるように指導している。		
評価機関 記入欄		①安全チェックリストを用い、安全な環境が整っているかを確認しています。地震対策として棚の転倒防止を徹底しました。 ②清掃は毎日行くと共に子ども達には整理整頓の意識がつけられるように指導しています。年3回外虫駆除を実施していますが、施設は老朽化がすすみ課題があります。今年度大規模修繕を実施します。		

B-2 保護者・学校との連携		A	A
B-2-(1) 保護者との連携			
① 保護者との協力関係を構築している。		a	a
指定管理者 記入欄	①お迎え時には保護者に子ども達に様子を伝え、良好な関係を築けるよう日々配慮している。特にトラブルがあった時はその日のうちに連絡している。また、保護者がこれられない場合は連絡帳や電話で連絡をしている。また、年2回希望者とは面談を行い、学童クラブの様子を伝えると共に家庭や学校の様子を聞いている。保護者会も実施し、日々の様子や学童からのお願い事項を伝えている。		
評価機関 記入欄	①課題や個別の伝達事項はお迎えの時に直接伝えることを基本に、連絡帳や電話も活用して保護者と情報共有の漏れが無いよう徹底しています。保護者会や希望者に対して保護者面談を実施しています。		
B-2-(2) 学校との連携			
① 学校との連携を図り、子どもの生活の連続性を保障している。		a	a
指定管理者 記入欄	①学校等は適宜連携が取れる状況にしている。こちらから連絡することもあるが、学校から連絡が入ったり、先生が直接児童館や学童クラブにきて様子を見ていくこともある。学校行事や学校公開にも積極的に参加し交流している。児童館の地域懇談会に学校長を招いている。また、館長が近隣小学校の学校運営協議会のメンバーになっている。		
評価機関 記入欄	①学校に隣接している立地ではないため、日常的には必要に応じて電話で相互に連絡をとっています。学校行事や学校公開にも職員が出向いています。児童館の地域懇談会に学校長を招いたり、館長が近隣小学校の学校運営協議会に参画したり、相互に連携協力しています。		
B-3 子どもの権利擁護		A	A
B-3-(1) 子どもの権利擁護			
① 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。		a	a
② 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。		a	b
指定管理者 記入欄	①子どもの権利条約に関しては職員や利用者が意識できるように児童館の玄関入ってすぐ目につく場所に掲示をしている。また、法人の「子育て指針」を毎月の全体会議で読み合せして確認している。 ②職員同士がお互いに注意し合えるようにしている。入職時には適切な子どもとの対応について伝えと共に適宜研修を行っている。いじめや虐待の早期発見にも努め、日常から子どもの些細な変化に気付けるようにしている。		
評価機関 記入欄	①子どもの権利条約について誰もが見やすい場所に掲示しています。子ども達の中で課題が発生した時は、子ども達での話し合いの機会を設けています。 ②新人研修や接遇研修、事例検討を通して子どもへの対応の留意点を周知しています。「不適切対応を防止するセルフチェックシート」づくりに取り組んで、来年度に完成予定です。		

墨田区児童館・学童クラブ利用者調査報告書

立花児童館

調査期間 令和 6 年 7 月 1 日(月)～7 月 31 日(水)

令和 7 年 2 月

経営創研株式会社

目 次

1. 児童館(小学生)	1
(1)属性と楽しみ	1
(2)各設問に対する回答	2
(3)自由記述	4
調査票	5
2. 児童館(中高生)	7
(1)総合的な満足度	7
(2)属性および利用頻度	7
(3)各設問に対する回答	9
(4)自由記述	11
調査票	12
3. 児童館(一般・親子)	15
(1)総合的な満足度	15
(2)属性および利用頻度	15
(3)各設問に対する回答	17
(4)自由記述	19
調査票	20
4. 学童(小学生)	23
(1)属性と楽しみ	23
(2)各設問に対する回答	24
(3)自由記述	26
調査票	27
5. 学童(保護者)	29
(1)総合的な満足度	29
(2)利用頻度および属性	29
(3)各設問に対する回答	30
(4)自由記述	32
調査票	33

注意)

ア. 集計結果について、各項目の割合を合計した数値が 100%にならない場合があります。

これは計算過程において小数点第 2 位を四捨五入したことによるものです。

イ. 自由記述は、原則として回答者の記述をそのまま掲載しています。

ウ. 回答率は「回答枚数」を「配布枚数」で除して 100 を掛けた数値です。

※補修工事に係る調整のため、他の 5 施設と異なる日程にて実施しました。

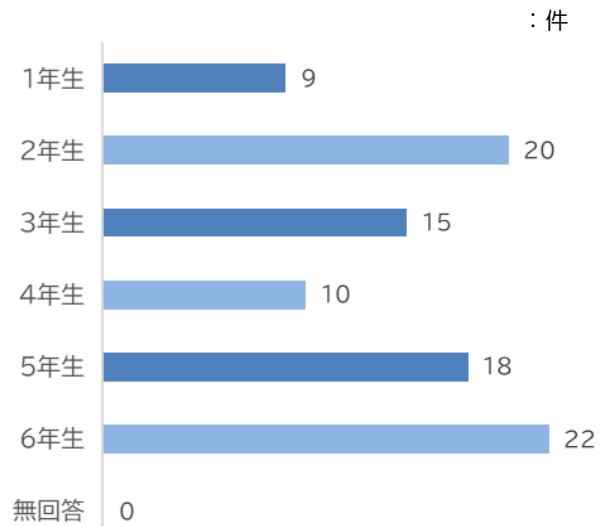
1. 児童館(小学生)

配布枚数	100 枚	回収枚数	94 枚	回答率	94.0%
------	-------	------	------	-----	-------

(1)属性と楽しみ

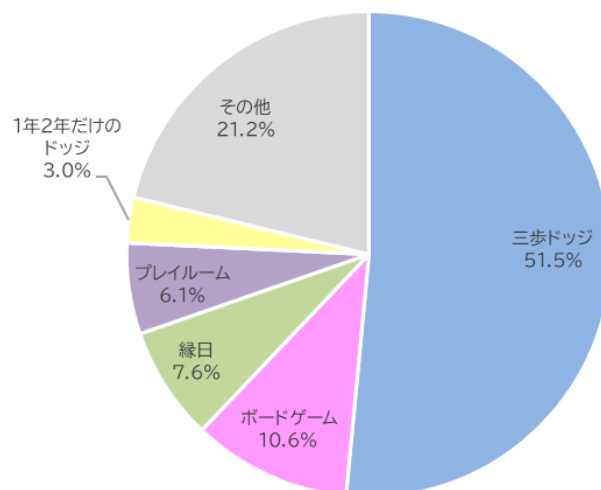
①あなたは何年生ですか

回 答	件数	割合
1年生	9	9.6%
2年生	20	21.3%
3年生	15	16.0%
4年生	10	10.6%
5年生	18	19.1%
6年生	22	23.4%
無回答	0	0.0%
合 計	94	100.0%



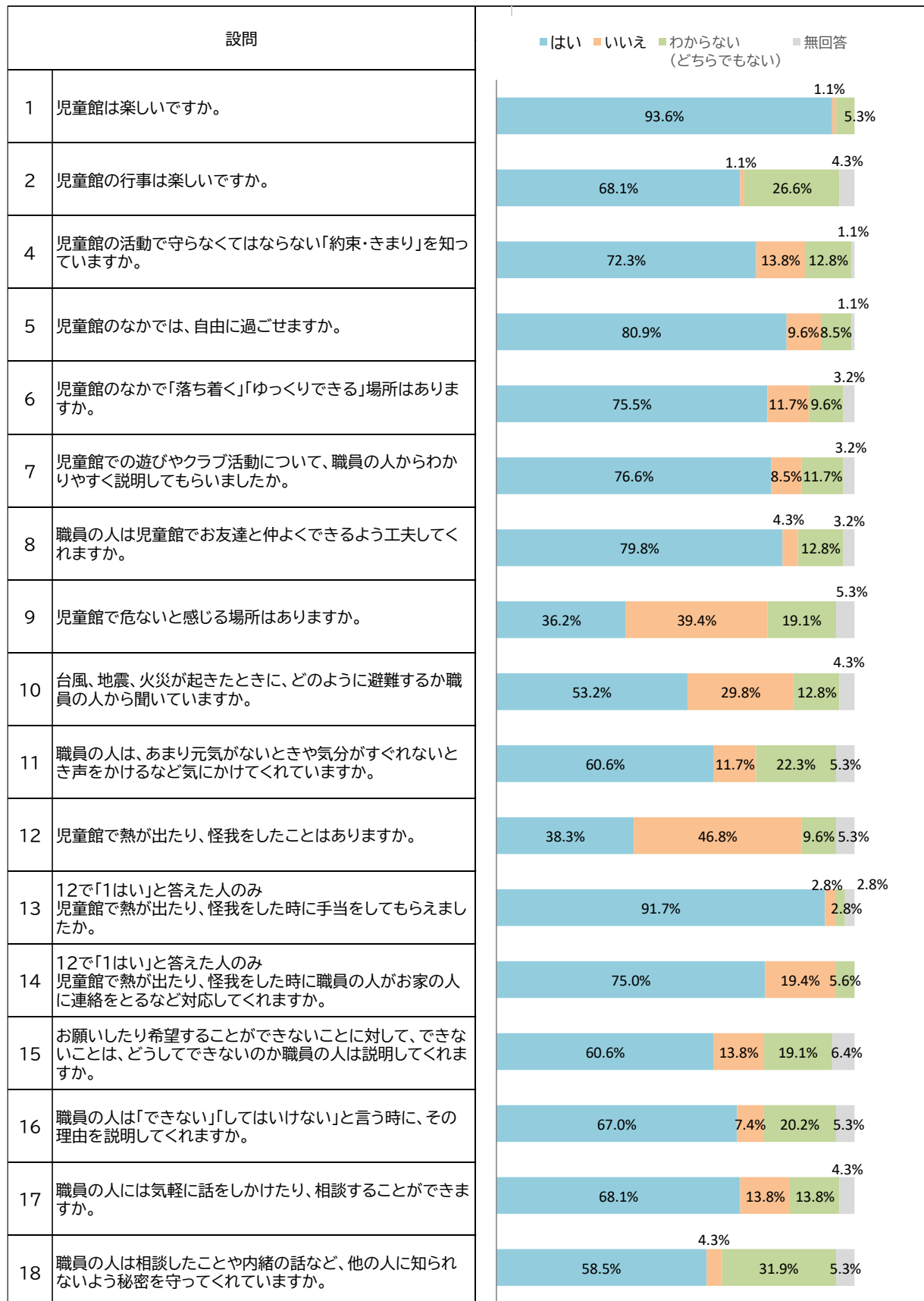
③児童館でとくに楽しみにしていること(複数回答可)

回 答	件数	割合
三歩ドッジ	34	51.5%
ボードゲーム	7	10.6%
縁日	5	7.6%
プレイルーム	4	6.1%
1年2年だけのドッジ	2	3.0%
その他	14	21.2%
合 計	66	100.0%



(2)各設問に対する回答

①グラフ



②数値

No.	設 問	評 点				
		はい	いいえ	わからない (どちらでも ない)	無回答	合計
1	児童館は楽しいですか。	88	1	5	0	94
		93.6%	1.1%	5.3%	0.0%	100.0%
2	児童館の行事は楽しいですか。	64	1	25	4	94
		68.1%	1.1%	26.6%	4.3%	100.0%
4	児童館の活動で守らなくてはならない「約束・きまり」を知っていますか。	68	13	12	1	94
		72.3%	13.8%	12.8%	1.1%	100.0%
5	児童館のなかでは、自由に過ごせますか。	76	9	8	1	94
		80.9%	9.6%	8.5%	1.1%	100.0%
6	児童館のなかで「落ち着く」「ゆっくりできる」場所がありますか。	71	11	9	3	94
		75.5%	11.7%	9.6%	3.2%	100.0%
7	児童館での遊びやクラブ活動について、職員の人からわかりやすく説明してもらいましたか。	72	8	11	3	94
		76.6%	8.5%	11.7%	3.2%	100.0%
8	職員の人には児童館でお友達と仲よくできるよう工夫してくれますか。	75	4	12	3	94
		79.8%	4.3%	12.8%	3.2%	100.0%
9	児童館で危ないと感じる場所がありますか。	34	37	18	5	94
		36.2%	39.4%	19.1%	5.3%	100.0%
10	台風、地震、火災が起きたときに、どのように避難するか職員の人から聞いていますか。	50	28	12	4	94
		53.2%	29.8%	12.8%	4.3%	100.0%
11	職員の中は、あまり元気がないときや気分がすぐれないとき声をかけるなど気にかけてくれていますか。	57	11	21	5	94
		60.6%	11.7%	22.3%	5.3%	100.0%
12	児童館で熱が出たり、怪我をしたことはありますか。	36	44	9	5	94
		38.3%	46.8%	9.6%	5.3%	100.0%
13	12で「1はい」と答えた人のみ 児童館で熱が出たり、怪我をした時に手当をしてもらえましたか。	33	1	1	1	36
		91.7%	2.8%	2.8%	2.8%	100.0%
14	12で「1はい」と答えた人のみ 児童館で熱が出たり、怪我をした時に職員の人がお家の人に連絡をとるなど対応してくれますか。	27	7	2	0	36
		75.0%	19.4%	5.6%	0.0%	100.0%
15	お願いしたり希望することができないことに対して、できないことは、どうしてできないのか職員の中は説明してくれますか。	57	13	18	6	94
		60.6%	13.8%	19.1%	6.4%	100.0%
16	職員の中は「できない」「してはいけない」と言う時に、その理由を説明してくれますか。	63	7	19	5	94
		67.0%	7.4%	20.2%	5.3%	100.0%
17	職員の中には気軽に話をしかけたり、相談することができますか。	64	13	13	4	94
		68.1%	13.8%	13.8%	4.3%	100.0%
18	職員の中は相談したことや内緒の話など、他の人に知られないよう秘密を守ってくれていますか。	55	4	30	5	94
		58.5%	4.3%	31.9%	5.3%	100.0%

(3)自由記述

意見・要望	
1	ゲーム機。
2	ドッジボールのボールがもっとほしい。
3	ゲームイベント。
4	一輪車タイムを別の日にもやってほしい。
5	お泊り会。任天堂・テレビ・タブレット。
6	水遊び。※同様意見が他に 2 名
7	三歩大好き。
8	もっと色々なボードゲームをしたい。
9	三歩ドッジでチーミングなどなくなればいい。
10	ゲーム。人生ゲーム。
11	お泊会。ニンテンドー。タブレット。
12	イベントで大縄で飛んでみたい。
13	ソフト積み木を増やしてほしい。
14	縁日を増やしてほしい。 ※同様意見が他に 2 名
15	たまにしか来ないけど楽しい。
16	ボール遊びがしたいです。
17	お菓子を作る時間がほしい。
18	三歩ドッジ。
19	イベントをやしてほしい。
20	児童館が楽しいです。
21	お祭りのイベントをやしてほしい。
22	体育館で鬼ごっこをしたい。
23	楽しい。

(補足)③児童館でとくに楽しみにしていること

三歩ドッジ	34	アイロンビーズ	1	ジョリに会えること、遊ぶこと。	1	ピアノ	1
ボードゲーム	7	一輪車	1	スーパードッジ	1	映画	1
縁日	5	絵を描く	1	卓球	1	作り物	1
プレイルーム	4	キャッチボール	1	縄跳び	1	野菜を育てたい	1
1年2年だけのドッジ	2	集会室	1	パズル	1		

ねんどすみだくりつ

2024年度墨田区立フレンドリープラザ

たちばなじどうかん

りようしゃ

ちようさ

立花児童館 利用者アンケート調査

すみだくりつ 墨田区立フレンドリープラザ（たちばなじどうかん 立花児童館）についてみなさんのご意見やご感想（どのようにかんじているかなど）をおしえてください。かいとうはできるだけじぶんこたえ、わからないときはお家のひとかしよくいん だす 職員に尋ねてください。

このアンケートは7月31日までに児童館の「アンケート回収箱」にいらしてください。
かいとう 回答いただいたようし 用紙はちょうさもくてき 調査目的だけにしようし、こたえ 答えた人がだれ 誰なのかわかることはありません。

- あなたはなんねんせい 何年生ですか。
- あてはまるもの1つに○をつけてください。

ねんせい 1年生	ねんせい 2年生	ねんせい 3年生	ねんせい 4年生	ねんせい 5年生	ねんせい 6年生
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

- つぎのこうむく 項目についておしえてください。
- 「はい」「いいえ」「わからない(どちらでもない)」のうち1つをえらんで○をつけてください。

こう 項 目		はい	いいえ	わからな い（どちら でもない）
①	じどうかん たの 児童館は楽しいですか。	1	2	3
②	じどうかん ぎようじ たの 児童館の行事は楽しいですか。	1	2	3
③	じどうかん かつどう たの 児童館の活動でとくに楽しみにしていることがあればおしえてください。 れい さんぽ 例：三歩ドッジ、漫画を読む、ボードゲーム			
④	じどうかん まも 児童館で守らなくてはならない「約束・きまり」を知っていますか。	1	2	3
⑤	じどうかん おし 児童館のなかでは、じゆう す 自由に過ごせますか。	1	2	3

うらめん 裏面につづきます

	こ う 項 目	はい	いいえ	わからない (どちらでも ない)
⑥	児童館 じどうかん のなかで「落ち着く おち づく 」「ゆっくりできる ばしょ 」場所がありますか。	1	2	3
⑦	児童館 じどうかん での遊び あそ やクラブ活動 かつどう について、職員 しよくいん の人からわかりやすく説明 せつめい してもらいましたか。	1	2	3
⑧	職員 しよくいん の人は児童館 じどうかん でお友達 ともだち と仲よくできるよう工夫 くふう してくれますか。	1	2	3
⑨	児童館 じどうかん で危ない あぶ と感じる場所 かん はありますか。	1	2	3
⑩	台風 たいふう 、地震 じしん 、火災 かさい が起きたときに、どのように避難 ひなん するか 職員 しよくいん の人から聞いていますか。	1	2	3
⑪	職員 しよくいん の人は、あまり元気 げんき がないときや気分 きぶん がすぐれないとき声 こえ をかけるなど気 き にかけてくれていますか。	1	2	3
⑫	児童館 じどうかん で熱 ねつ が出たり、怪我 けが をしたことはありますか。	1	2	3
⑬	⑫で「1（はい）」を選んだ人 えら ひと のみ答えてください。 児童館 じどうかん で熱 ねつ が出たり、怪我 けが をしたとき手当て てあて をしてもらえましたか。	1	2	3
⑭	⑫で「1（はい）」を選んだ人 えら ひと のみ答えてください。 児童館 じどうかん で熱 ねつ が出たり、怪我 けが をした時に 職員 しよくいん の人がお家 うち の人に連絡 れんらく をとるなど対応 たいおう してくれますか。	1	2	3
⑮	お願い ねが したり希望 きぼう することができないことに対して、できないことは、どうしてできないのか 職員 しよくいん の人は説明 せつめい してくれますか。	1	2	3
⑯	職員 しよくいん の人は「できない」「してはいけない」と言う時に、その理由 りゆう を説明 せつめい してくれますか。	1	2	3
⑰	職員 しよくいん の人には気軽に話 はなし しかけたり、相談 そうだん することができますか。	1	2	3
⑱	職員 しよくいん の人は相談 さうだん したことや内緒 ないしょ の話 はなし など、他の人 ほか に知られないよう秘密 ひみつ を守 まも ってくれていますか。	1	2	3

■ 児童館じどうかんについて思うことおもや言いいたいことたいを自由じゆうに書かいてください。

例れい：「こんなおもちゃがよかったらいい」「もっとこんなイベントをやしてほしい」など。

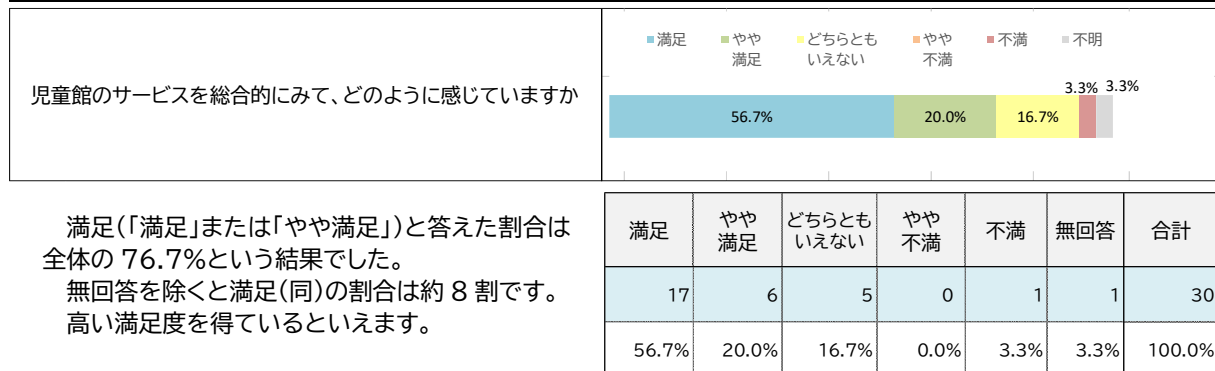
アンケートは以上です。ありがとうございました。

調査機関：経営創研株式会社（東京都中央区日本橋大伝馬町 17 番 3 号） 電話：03-6661-9410 担当：石井

2. 児童館(中高生)

配布枚数	40 枚	回収枚数	30 枚	回答率	75.0%
------	------	------	------	-----	-------

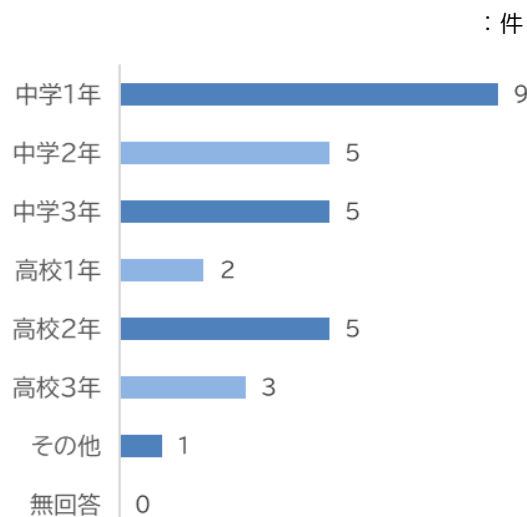
(1)総合的な満足度



(2)属性および利用頻度

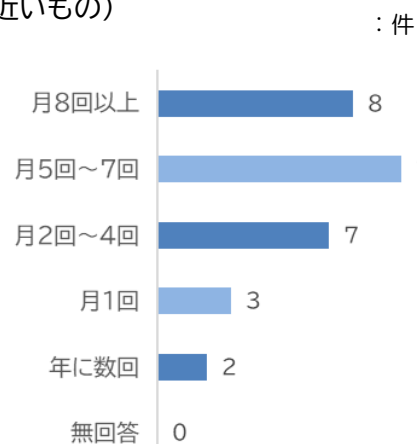
①あなたは何年生ですか

回 答	件数	割合
中学1年	9	30.0%
中学2年	5	16.7%
中学3年	5	16.7%
高校1年	2	6.7%
高校2年	5	16.7%
高校3年	3	10.0%
その他	1	3.3%
無回答	0	0.0%
合 計	30	100.0%



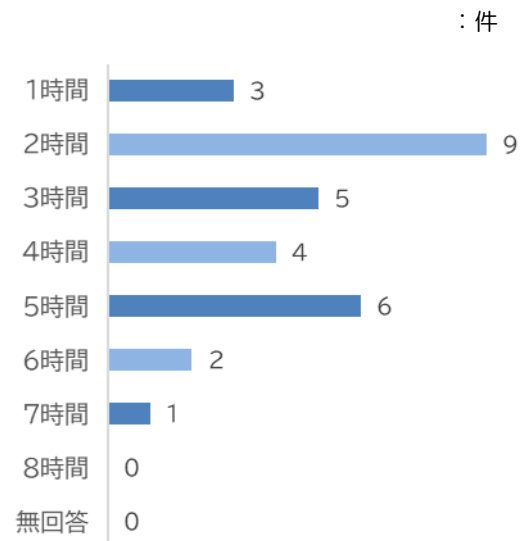
②どのくらいのペースで利用していますか(最も近いもの)

回 答	件数	割合
月8回以上	8	26.7%
月5回～7回	10	33.3%
月2回～4回	7	23.3%
月1回	3	10.0%
年に数回	2	6.7%
無回答	0	0.0%
合 計	30	100.0%



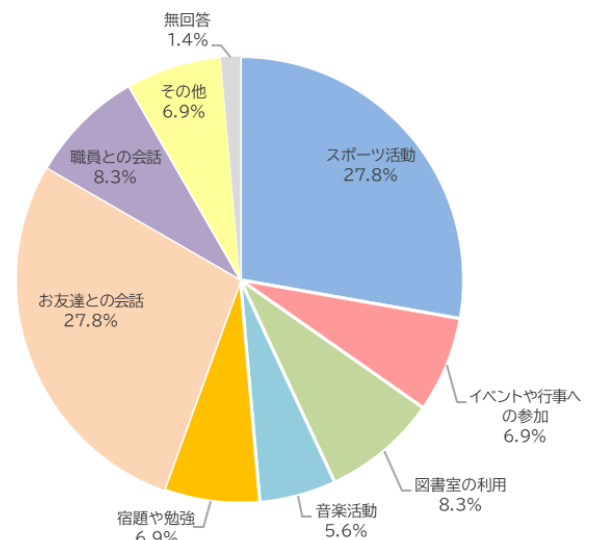
③主な利用時間を教えてください

回 答	件数	割合
1時間	3	10.0%
2時間	9	30.0%
3時間	5	16.7%
4時間	4	13.3%
5時間	6	20.0%
6時間	2	6.7%
7時間	1	3.3%
8時間	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合 計	30	100.0%



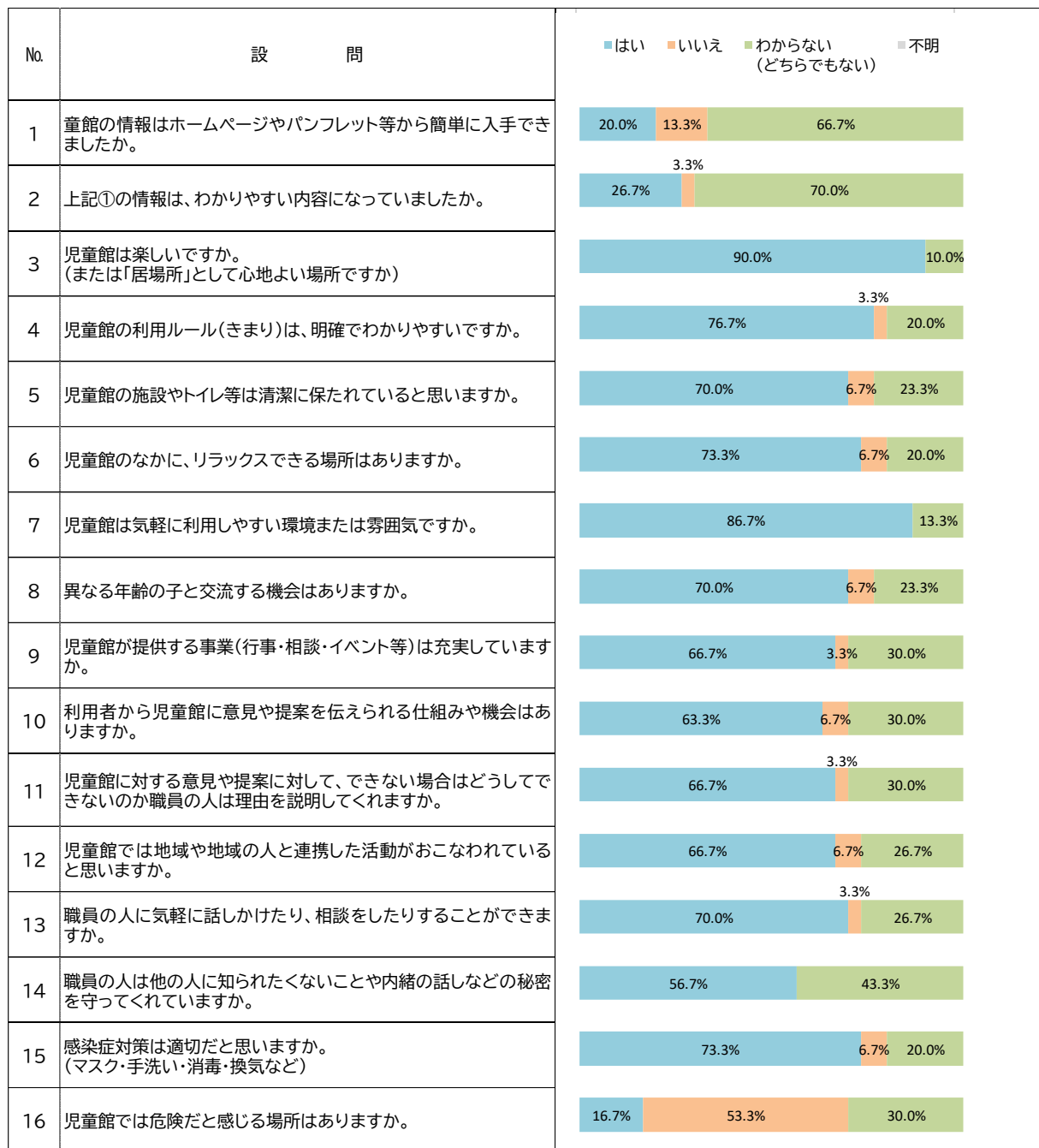
④主にどのような目的で利用していますか(複数回答可)

回 答	件数	割合
スポーツ活動	20	27.8%
イベントや行事への参加	5	6.9%
図書室の利用	6	8.3%
音楽活動	4	5.6%
宿題や勉強	5	6.9%
お友達との会話	20	27.8%
職員との会話	6	8.3%
その他	5	6.9%
無回答	1	1.4%
合 計	72	100.0%



(3)各設問に対する回答

①グラフ



②数値

No.	設 問	評 点				
		はい	いいえ	わからない どちらでもない	無回答	合計
1	児童館の情報はホームページやパンフレット等から簡単に入手できましたか。	6	4	20	0	30
		20.0%	13.3%	66.7%	0.0%	100.0%
2	上記①の情報は、わかりやすい内容になっていましたか。	8	1	21	0	30
		26.7%	3.3%	70.0%	0.0%	100.0%
3	児童館は楽しいですか。 (または「居場所」として心地よい場所ですか)	27	0	3	0	30
		90.0%	0.0%	10.0%	0.0%	100.0%
4	児童館の利用ルール(きまり)は、明確でわかりやすいですか。	23	1	6	0	30
		76.7%	3.3%	20.0%	0.0%	100.0%
5	児童館の施設やトイレ等は清潔に保たれていると思いますか。	21	2	7	0	30
		70.0%	6.7%	23.3%	0.0%	100.0%
6	児童館のなかに、リラックスできる場所がありますか。	22	2	6	0	30
		73.3%	6.7%	20.0%	0.0%	100.0%
7	児童館は気軽に利用しやすい環境または雰囲気ですか。	26	0	4	0	30
		86.7%	0.0%	13.3%	0.0%	100.0%
8	異なる年齢の子と交流する機会がありますか。	21	2	7	0	30
		70.0%	6.7%	23.3%	0.0%	100.0%
9	児童館が提供する事業(行事・相談・イベント等)は充実していますか。	20	1	9	0	30
		66.7%	3.3%	30.0%	0.0%	100.0%
10	利用者から児童館に意見や提案を伝えられる仕組みや機会がありますか。	19	2	9	0	30
		63.3%	6.7%	30.0%	0.0%	100.0%
11	児童館に対する意見や提案に対して、できない場合はどうしてできないのか職員の人は理由を説明してくれますか。	20	1	9	0	30
		66.7%	3.3%	30.0%	0.0%	100.0%
12	児童館では地域や地域の人と連携した活動がおこなわれていると思いますか。	20	2	8	0	30
		66.7%	6.7%	26.7%	0.0%	100.0%
13	職員の人に気軽に話しかけたり、相談をしたりすることができますか。	21	1	8	0	30
		70.0%	3.3%	26.7%	0.0%	100.0%
14	職員の人は他の人に知られたくないことや内緒の話などの秘密を守ってくれていますか。	17	0	13	0	30
		56.7%	0.0%	43.3%	0.0%	100.0%
15	感染症対策は適切だと思いますか。 (マスク・手洗い・消毒・換気など)	22	2	6	0	30
		73.3%	6.7%	20.0%	0.0%	100.0%
16	児童館では危険だと感じる場所がありますか。	5	16	9	0	30
		16.7%	53.3%	30.0%	0.0%	100.0%

(4)自由記述

意見・要望	
1	遊び道具を少し増やしてみてもよいと思う(提案)。
2	楽しいです。
3	仕事をしてください。
4	いいと思う。
5	楽しい。※同様意見が他に 1 名
6	戦闘民族多すぎ。
7	キングダムお願いします。
8	「ヘルシング」というマンガを追加してほしいです。
9	スロット。ランチ。
10	PS4 を置いてください。
11	クイックアイがほしい。
12	3 階建てにしてほしい。

2024 年度墨田区立フレンドリープラザ 立花児童館 利用者アンケート調査

【利用者アンケートへのご協力のお願い】

墨田区立フレンドリープラザ(立花児童館)では、今後のよりよいサービス提供を目指し、利用者アンケート調査を実施いたします。アンケート結果は統計的に処理したうえ、サービス改善の参考資料として使用いたします。したがって、記入者を特定したり、この目的以外に使用したりすることはありません。

調査目的をご理解のうえ、ご協力いただきますようお願いいたします。

回答いただいた用紙は、**7月31日まで**児童館の「アンケート回収箱」にいらしてください。

調査実施者：墨田区役所子育て政策課

電話. 03-5608-6195

お問合せ先：経営創研株式会社(本調査委託先)

東京都中央区日本橋大伝馬町17番3号 電話. 03-6661-9410 担当:石井

【質問内容】

■あなたの学年を教えてください。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | | |
|---------|---------|---------|--------|
| 1. 中学1年 | 2. 中学2年 | 3. 中学3年 | |
| 4. 高校1年 | 5. 高校2年 | 6. 高校3年 | 7. その他 |

■どのくらいのペースで利用していますか。最も近いもの1つに○をつけてください。

- | | | | | |
|----------|----------|----------|--------|---------|
| 1. 月8回以上 | 2. 月5～7回 | 3. 月2～4回 | 4. 月1回 | 5. 年に数回 |
|----------|----------|----------|--------|---------|

■主な利用時間を教えてください。※四角のなかに当てはまる数字を入れてください。

時	～	時
---	---	---

■主にどのような目的で利用していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|----------------|-----------|---------|
| 1. スポーツ活動 | 2. イベントや行事への参加 | 3. 図書室の利用 | 4. 音楽活動 |
| 5. 宿題や勉強 | 6. お友達との会話 | 7. 職員との会話 | |
| 8. その他（ | ） | | |

裏面に続きます

■児童館を利用した感想をお聞かせください。

回答は「はい」「いいえ」「わからない（どちらでもない）」から1つを選（えら）んで○をつけてください。

項目	はい	いいえ	わからない どちらでもない
① 児童館の情報はホームページやパンフレット等から簡単に入手できましたか。	1	2	3
② 上記①の情報は、わかりやすい内容になっていましたか。	1	2	3
③ 児童館は楽しいですか（または「居場所」として心地よい場所ですか）。	1	2	3
④ 児童館の利用ルール（きまり）は、明確でわかりやすいですか。	1	2	3
⑤ 児童館の施設やトイレ等は清潔に保たれていると思いますか。	1	2	3
⑥ 児童館のなかに、リラックスできる場所はありますか。	1	2	3
⑦ 児童館は気軽に利用しやすい環境または雰囲気ですか。	1	2	3
⑧ 異なる年齢の子と交流する機会はありますか	1	2	3
⑨ 児童館が提供する事業（行事・相談・イベント等）は充実していますか。	1	2	3
⑩ 利用者から児童館に意見や提案を伝えられる仕組みや機会はありますか。	1	2	3
⑪ 児童館に対する意見や提案に対して、できない場合はどうしてできないのか職員の方は理由を説明してくれますか。	1	2	3
⑫ 児童館では地域や地域の人と連携した活動が行われていると思いますか。	1	2	3
⑬ 職員の人に気軽に話かけたり、相談をしたりすることができますか。	1	2	3
⑭ 職員の方は他の人に知られたくないことや内緒の話などの秘密を守ってくれていますか。	1	2	3
⑮ 感染症対策は適切だと思いますか（マスク・手洗い・消毒・換気など）。	1	2	3
⑯ 児童館で危険だと感じる場所はありますか。	1	2	3

■児童館のサービスを総合的にみて、どのように感じていますか。

満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満
1	2	3	4	5

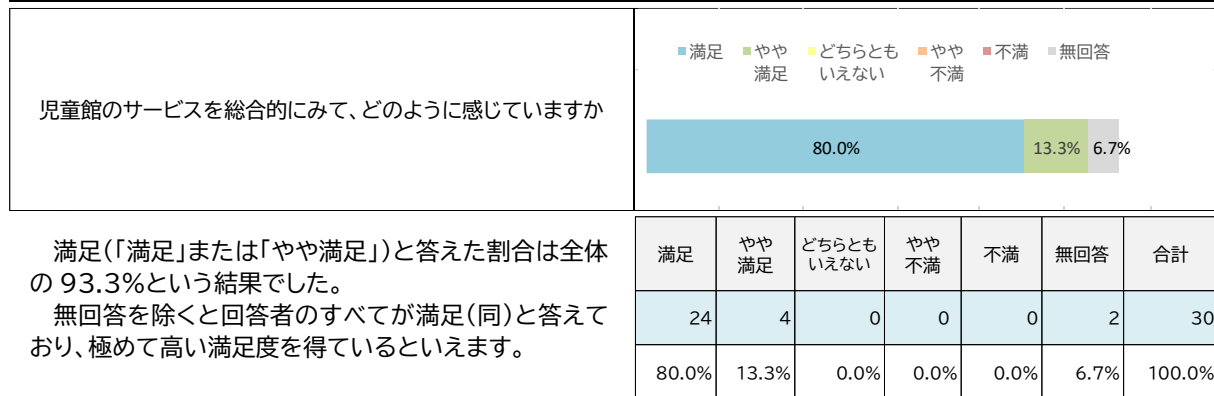
■児童館へのご意見などご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

3. 児童館(一般・親子)

配布枚数	40 枚	回収枚数	30 枚	回答率	75%
------	------	------	------	-----	-----

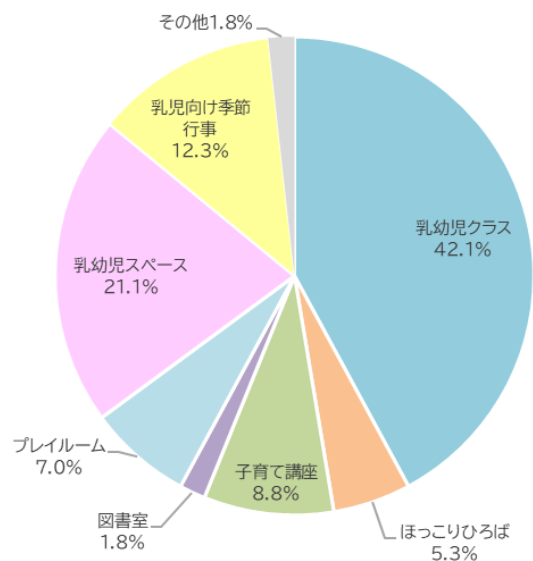
(1)総合的な満足度



(2)属性および利用頻度

①どのような事業・館内施設を利用していますか(複数回答可)

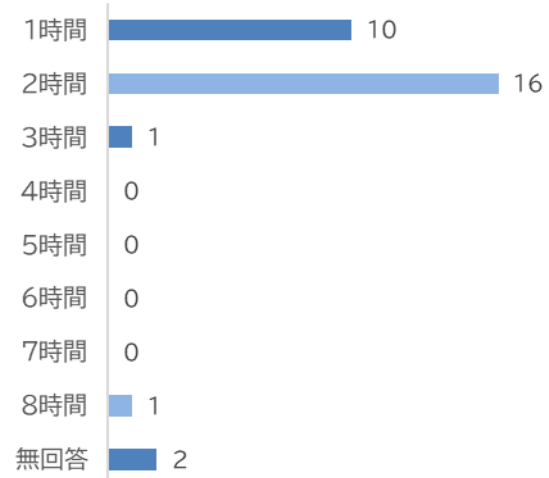
回 答	件数	割合
乳幼児クラス	24	42.1%
ほっこりひろば	3	5.3%
子育て講座	5	8.8%
図書室	1	1.8%
プレイルーム	4	7.0%
乳幼児スペース	12	21.1%
乳幼児向け季節行事	7	12.3%
カレンダー作り	0	0.0%
その他	1	1.8%
無回答	0	0.0%
合 計	57	100%



②主な利用時間は何時から何時までですか(利用時間)

: 件

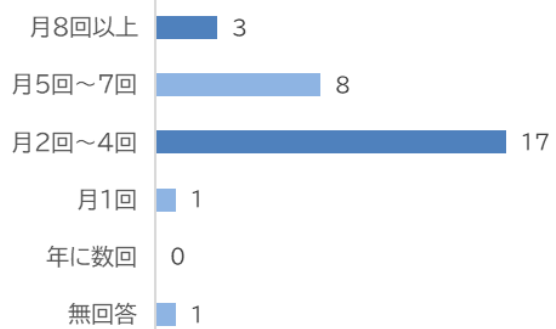
回 答	件数	割合
1時間	10	33.3%
2時間	16	53.3%
3時間	1	3.3%
4時間	0	0.0%
5時間	0	0.0%
6時間	0	0.0%
7時間	0	0.0%
8時間	1	3.3%
無回答	2	6.7%
合 計	30	100.0%



③お子さんの利用回数はどのくらいですか(最も近い回数)

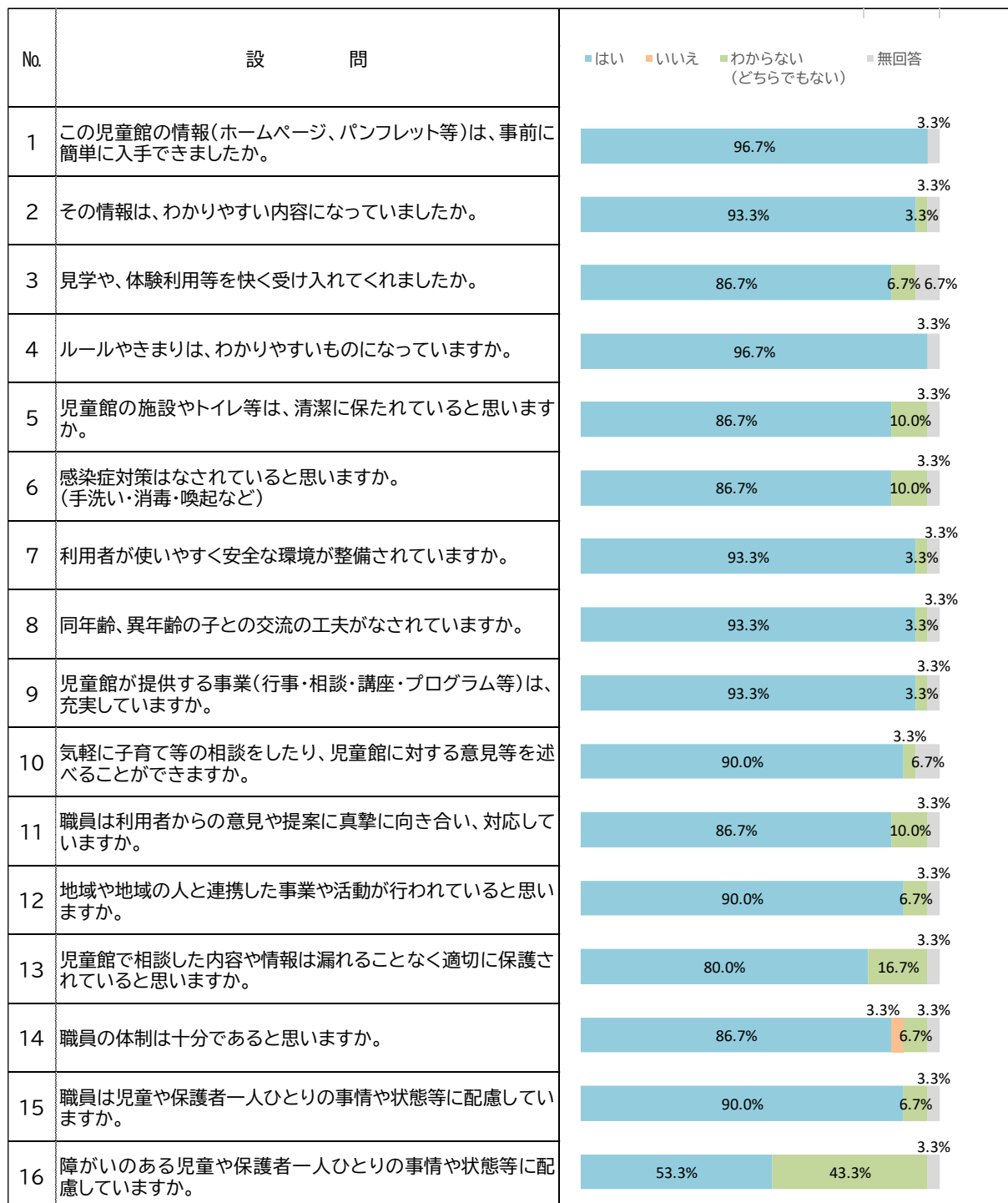
: 件

回 答	件数	割合
月8回以上	3	10.0%
月5回～7回	8	26.7%
月2回～4回	17	56.7%
月1回	1	3.3%
年に数回	0	0.0%
無回答	1	3.3%
合 計	30	100.0%



(3)各設問に対する回答

①グラフ



②数値

No.	設 問	評 点				
		はい	いいえ	わからない (どちらでもない)	無回答	合計
1	この児童館の情報(ホームページ、パンフレット等)は、事前に簡単に入手できましたか。	29	0	0	1	30
		96.7%	0.0%	0.0%	3.3%	100.0%
2	その情報は、わかりやすい内容になっていましたか。	28	0	1	1	30
		93.3%	0.0%	3.3%	3.3%	100.0%
3	見学や、体験利用等を快く受け入れてくれましたか。	26	0	2	2	30
		86.7%	0.0%	6.7%	6.7%	100.0%
4	ルールやきまりは、わかりやすいものになっていますか。	29	0	0	1	30
		96.7%	0.0%	0.0%	3.3%	100.0%
5	児童館の施設やトイレ等は、清潔に保たれていると思いますか。	26	0	3	1	30
		86.7%	0.0%	10.0%	3.3%	100.0%
6	感染症対策はなされていると思いますか。 (手洗い・消毒・換気など)	26	0	3	1	30
		86.7%	0.0%	10.0%	3.3%	100.0%
7	利用者が使いやすく安全な環境が整備されていますか。	28	0	1	1	30
		93.3%	0.0%	3.3%	3.3%	100.0%
8	同年齢、異年齢の子との交流の工夫がなされていますか。	28	0	1	1	30
		93.3%	0.0%	3.3%	3.3%	100.0%
9	児童館が提供する事業(行事・相談・講座・プログラム等)は、充実していますか。	28	0	1	1	30
		93.3%	0.0%	3.3%	3.3%	100.0%
10	気軽に子育て等の相談をしたり、児童館に対する意見等を述べる事ができますか。	27	0	1	2	30
		90.0%	0.0%	3.3%	6.7%	100.0%
11	職員は利用者からの意見や提案に真摯に向き合い、対応していますか。	26	0	3	1	30
		86.7%	0.0%	10.0%	3.3%	100.0%
12	地域や地域の人と連携した事業や活動が行われていると思いますか。	27	0	2	1	30
		90.0%	0.0%	6.7%	3.3%	100.0%
13	児童館で相談した内容や情報は漏れることなく適切に保護されていると思いますか。	24	0	5	1	30
		80.0%	0.0%	16.7%	3.3%	100.0%
14	職員の体制は十分であると思いますか。	26	1	2	1	30
		86.7%	3.3%	6.7%	3.3%	100.0%
15	職員は児童や保護者一人ひとりの事情や状態等に配慮していますか。	27	0	2	1	30
		90.0%	0.0%	6.7%	3.3%	100.0%
16	障がいのある児童や保護者一人ひとりの事情や状態等に配慮していますか。	16	0	13	1	30
		53.3%	0.0%	43.3%	3.3%	100.0%

(4)自由記述

意見・要望	
1	いつも楽しく遊ばせてもらっています。有難うございます。
2	クラス活動が充実して、先生たちも優しく楽しいです。いつも有難うございます。
3	いつも有難うございます。子どもがとても楽しみにしています。
4	いつも楽しいイベント有難うございます。
5	職員の皆さんがとても親切だと思います。
6	いつもお世話になっております。職員の方も優しくいつも助かっています。
7	いつも楽しいクラスに参加させて頂いて感謝しています。これからも頑張って下さい。

2024 年度墨田区立フレンドリープラザ 立花児童館 利用者アンケート調査

【利用者アンケートへのご協力のお願い】

墨田区立フレンドリープラザ(立花児童館)では、今後のよりよいサービス提供を目指し、利用者アンケート調査を実施いたします。アンケート結果は統計的に処理したうえ、サービス改善の参考資料として使用いたします。したがって、記入者を特定したり、この目的以外に使用したりすることはありません。

調査目的をご理解のうえ、ご協力いただきますようお願いいたします。

回答いただいた用紙は、**7月31日**まで児童館の「アンケート回収箱」にいらしてください。

調査実施者：墨田区役所子育て政策課
電話. 03-5608-6195

お問合せ先：経営創研株式会社(本調査委託先)
東京都中央区日本橋大伝馬町 17 番 3 号 電話. 03-6661-9410 担当:石井

【質問内容】

■どのような事業、館内施設を利用していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 乳幼児クラス（うさぎ・ぱんだ・こあら・きりん・たまご）
2. ほっこりひろば
3. 子育て講座
4. 図書室
5. プレイルーム
6. 乳幼児スペース
7. 乳幼児向け季節行事（水あそび、ハロウィン等）
8. カレンダー作り
9. その他（ ）

■主な利用時間を教えてください。※四角のなかに当てはまる数字を入れてください。

時	～	時
---	---	---

■どのくらいのペースで利用していますか。最も近いもの 1 つに○をつけてください。

- | | | | | |
|----------|----------|----------|--------|---------|
| 1. 月8回以上 | 2. 月5～7回 | 3. 月2～4回 | 4. 月1回 | 5. 年に数回 |
|----------|----------|----------|--------|---------|

裏面に続きます

■児童館を利用した感想をお聞かせください。

回答は「はい」「いいえ」「わからない（どちらでもない）」から1つを選(えら)んで○をつけてください。

	こ 項 目	はい	いいえ	わからない どちらでもない
①	この児童館の情報（ホームページ、パンフレット等）は、事前に簡単に入手できましたか。	1	2	3
②	その情報は、わかりやすい内容になっていましたか。	1	2	3
③	見学や、体験利用等を快く受け入れてくれましたか。	1	2	3
④	ルールやきまりは、わかりやすいものになっていますか。	1	2	3
⑤	児童館の施設やトイレ等は、清潔に保たれていると思いますか。	1	2	3
⑥	感染症対策はなされていると思いますか（手洗い・消毒・換気など）。	1	2	3
⑦	利用者が使いやすく安全な環境が整備されていますか。	1	2	3
⑧	同年齢、異年齢の子との交流に工夫がなされていますか。	1	2	3
⑨	児童館が提供する事業（行事・相談・プログラム等）は、充実していますか。	1	2	3
⑩	気軽に子育て等の相談をしたり、児童館に対する意見等を述べることができますか。	1	2	3
⑪	職員は利用者からの意見や提案に真摯に向き合い、対応していますか。	1	2	3
⑫	地域や地域のひとと連携した事業や活動が行われていると思いますか。	1	2	3
⑬	児童館で相談した内容や情報は漏れることなく適切に保護されていると思いますか。	1	2	3
⑭	職員の体制は十分であると思いますか。	1	2	3
⑮	職員は児童や保護者一人ひとりの事情や状態等に配慮していますか。	1	2	3
⑯	障がいのある児童への配慮は十分なされていると思いますか。	1	2	3

■児童館のサービスを総合的にみて、どのように感じていますか。

満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満
1	2	3	4	5

■児童館へのご意見などご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

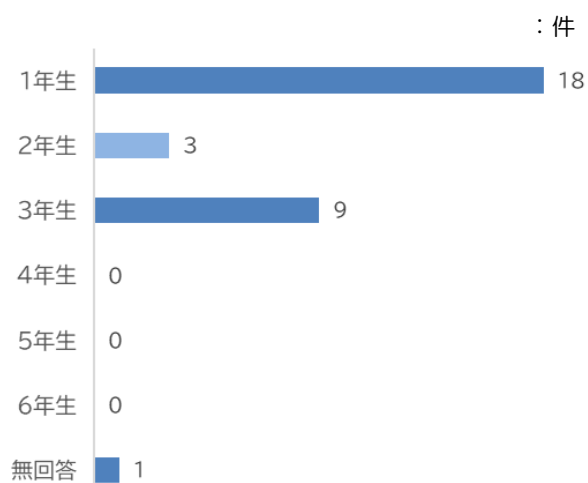
4. 学童クラブ(小学生)

配布枚数	44 枚	回収枚数	31 枚	回答率	70.5%
------	------	------	------	-----	-------

(1)属性と楽しみ

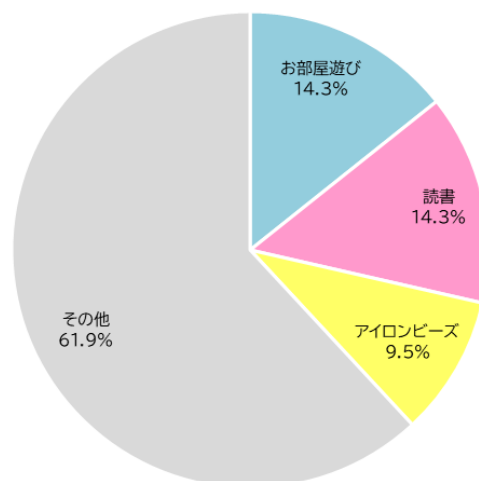
①あなたは何年生ですか

回 答	件数	割合
1年生	18	58.1%
2年生	3	9.7%
3年生	9	29.0%
4年生	0	0.0%
5年生	0	0.0%
6年生	0	0.0%
無回答	1	3.2%
合 計	31	100.0%



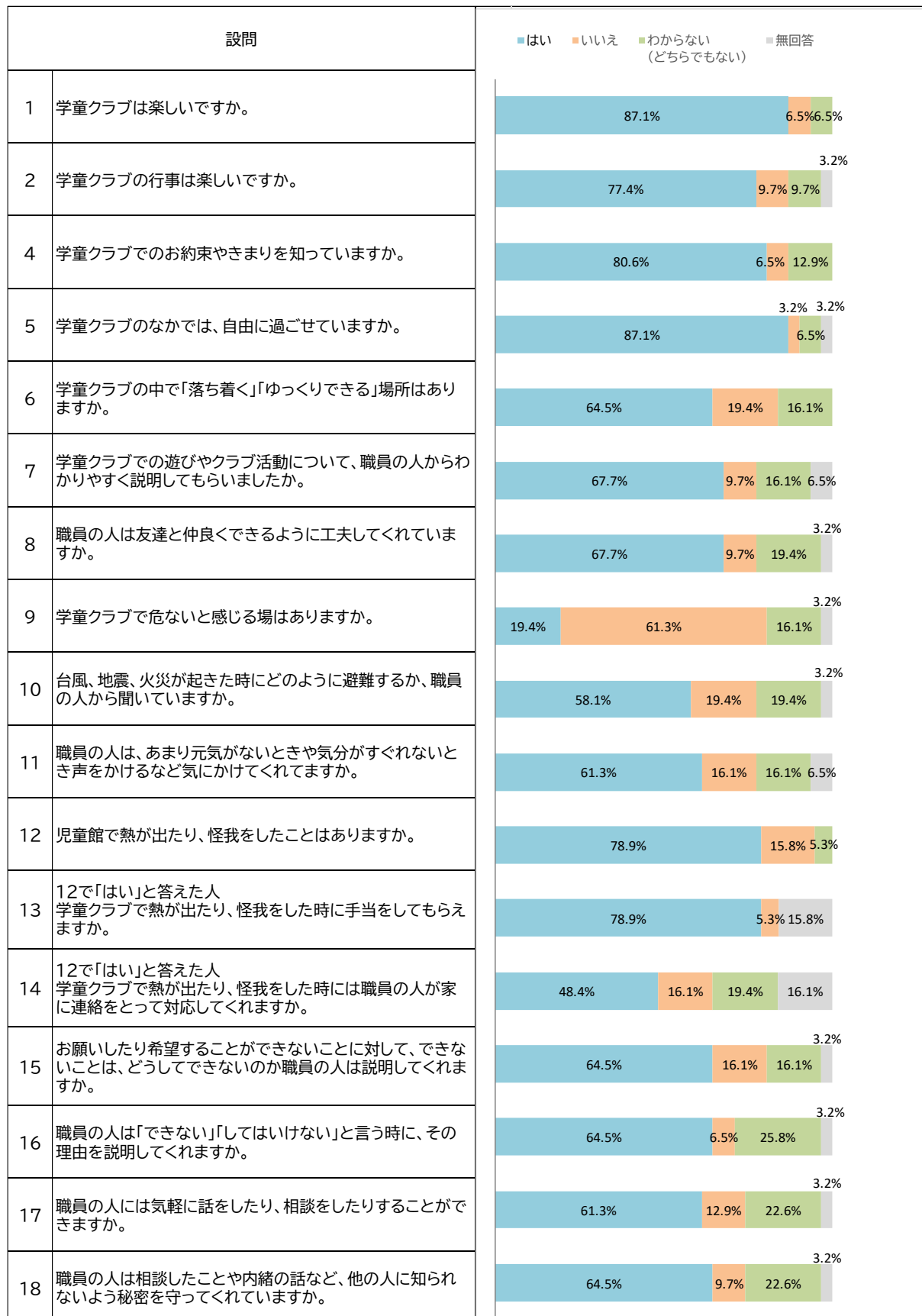
③学童クラブでとくに楽しみにしていること(複数回答可)

回答	件数	割合
お部屋遊び	3	14.3%
読書	3	14.3%
アイロンビーズ	2	9.5%
その他	13	61.9%
合 計	21	100.0%



(2)各設問に対する回答

①グラフ



②数値

No.	設 問	評 点				
		はい	いいえ	わからない (どちらでもない)	無回答	合計
1	学童クラブは楽しいですか。	27	2	2	0	31
		87.1%	6.5%	6.5%	0.0%	100.0%
2	学童クラブの行事は楽しいですか。	24	3	3	1	31
		77.4%	9.7%	9.7%	3.2%	100.0%
4	学童クラブでのお約束やきまりを知っていますか。	25	2	4	0	31
		80.6%	6.5%	12.9%	0.0%	100.0%
5	学童クラブのなかでは、自由に過ごさせていますか。	27	1	2	1	31
		87.1%	3.2%	6.5%	3.2%	100.0%
6	学童クラブの中で「落ち着く」「ゆっくりできる」場所がありますか。	20	6	5	0	31
		64.5%	19.4%	16.1%	0.0%	100.0%
7	学童クラブでの遊びやクラブ活動について、職員の人からわかりやすく説明してもらいましたか。	21	3	5	2	31
		67.7%	9.7%	16.1%	6.5%	100.0%
8	職員の人とは友達と仲良くできるように工夫してくれていますか。	21	3	6	1	31
		67.7%	9.7%	19.4%	3.2%	100.0%
9	学童クラブで危ないと感じる場はありますか。	6	19	5	1	31
		19.4%	61.3%	16.1%	3.2%	100.0%
10	台風、地震、火災が起きた時にどのように避難するか、職員の人から聞いていますか。	18	6	6	1	31
		58.1%	19.4%	19.4%	3.2%	100.0%
11	職員の中は、あまり元気がないときや気分がすぐれないとき声をかけるなど気にかけてくれますか。	19	5	5	2	31
		61.3%	16.1%	16.1%	6.5%	100.0%
12	児童館で熱が出たり、怪我をしたことはありますか。	15	3	1	0	19
		78.9%	15.8%	5.3%	0.0%	100.0%
13	12で「はい」と答えた人 学童クラブで熱が出たり、怪我をした時に手当をしてもらえますか。	15	1	0	3	19
		78.9%	5.3%	0.0%	15.8%	100.0%
14	12で「はい」と答えた人 学童クラブで熱が出たり、怪我をした時には職員の人から家に連絡をとって対応してくれますか。	15	5	6	5	31
		48.4%	16.1%	19.4%	16.1%	100.0%
15	お願いしたり希望することができないことに対して、できないことは、どうしてできないのか職員の中は説明してくれますか。	20	5	5	1	31
		64.5%	16.1%	16.1%	3.2%	100.0%
16	職員の中は「できない」「してはいけない」と言う時に、その理由を説明してくれますか。	20	2	8	1	31
		64.5%	6.5%	25.8%	3.2%	100.0%
17	職員の中には気軽に話をしたり、相談をしたりすることができますか。	19	4	7	1	31
		61.3%	12.9%	22.6%	3.2%	100.0%
18	職員の中は相談したことや内緒の話など、他の人に知られないよう秘密を守ってくれていますか。	20	3	7	1	31
		64.5%	9.7%	22.6%	3.2%	100.0%

(3)自由記述

意見・要望	
1	もっと本があったら楽しい。
2	宿題をしている人のそばで遊ばないでほしい。
3	宿題をいっぱいやって遊ぶ。
4	もっと児童館に出れる時間を増やしてほしい。

(補足)③学童クラブでとくに楽しみにしていること

お部屋遊び	3	キャッチボール	1	ドッジボール	1	レゴ	1
読書	3	恐竜で遊ぶ	1	友達と遊ぶ	1	ラキュー	1
アイロンビーズ	2	ゲーム	1	紐遊び	1		
映画館	1	コマ	1	水遊び	1		
おさめ会	1	作り物	1	リップスティック	1		

ねんどすみだくりつ
2024年度墨田区立フレンドリープラザ
たちばなじどうかん りようしゃ ちょうさ
立花児童館 利用者アンケート調査

すみだくりつ 墨田区立フレンドリープラザ（たちばなじどうかんがくどう 立花児童館学童クラブ）についてみなさんのご意見やご感想（どのように感じているかなど）をおしえてください。回答はできるだけ自分で答え、わからないときはお家の人が職員に尋ねてください。

このアンケートは7月31日までに学童クラブの「アンケート回収箱」にいらしてください。
回答いただいた用紙は調査目的だけに使用し、答えた人が誰なのかわかることはありません。

■あなたは何年生ですか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生
------	------	------	------	------	------

■つぎの項目について教えてください。あてはまるもの1つに○をつけてください。

項 目	はい	いいえ	わからない どちらでもない
① 学童クラブは楽しいですか。	1	2	3
② 学童クラブの行事は楽しいですか。	1	2	3
③ 学童クラブでとくに楽しみにしていることがあれば教えてください。 例：アイロンビーズ、おへやあそび、本を読む。			
④ 学童クラブでのお約束やきまりを知っていますか。	1	2	3
⑤ 学童クラブのなかでは、自由に過ごさせていますか。	1	2	3
⑥ 学童クラブのなかに「落ち着く」「ゆっくりできる」場所がありますか。	1	2	3

裏面に続きます

項 目	はい	いいえ	わからない どちらでもない
⑦ 学童クラブでの遊びやクラブ活動について、職員の人からわかりやすく説明してもらいましたか。	1	2	3
⑧ 職員の人とは友達と仲よくできるように工夫をしてくれていますか。	1	2	3
⑨ 学童クラブで危ないと感じる場所がありますか。	1	2	3
⑩ 台風、地震、火災が起きた時にどのように避難するか、職員の人から聞いていますか。	1	2	3
⑪ 職員の人とは、あまり元気がないときや気分がすぐれないとき声をかけるなど気にかけてくれていますか。	1	2	3
⑫ 児童館で熱が出たり、怪我をしたことはありますか。	1	2	3
⑬ ⑪で「1 はい」と答えた人のみ答えてください。 学童クラブで熱が出たり、怪我をした時に手当てをしてもらえますか。	1	2	3
⑭ ⑪で「1 はい」と答えた人のみ答えてください。 学童クラブで熱が出たり、怪我をした時には職員の人から家に連絡をとって対応してくれますか。	1	2	3
⑮ お願いしたり希望することができないことに対して、できないことは、どうしてできないのか職員の人には説明してくれますか。	1	2	3
⑯ 職員の人には「できない」「してはいけない」と言う時に、その理由を説明してくれますか。	1	2	3
⑰ 職員の人には気軽に話をしたり、相談をしたりすることができますか。	1	2	3
⑱ 職員の人には相談したことや内緒の話など、他の人に知られないよう秘密を守ってくれていますか。	1	2	3

学童クラブについて思うことを自由に書いてください。

例えば「こうしたらもっと楽しい」や「もっとこういう風にしてほしい」と思うことなど。

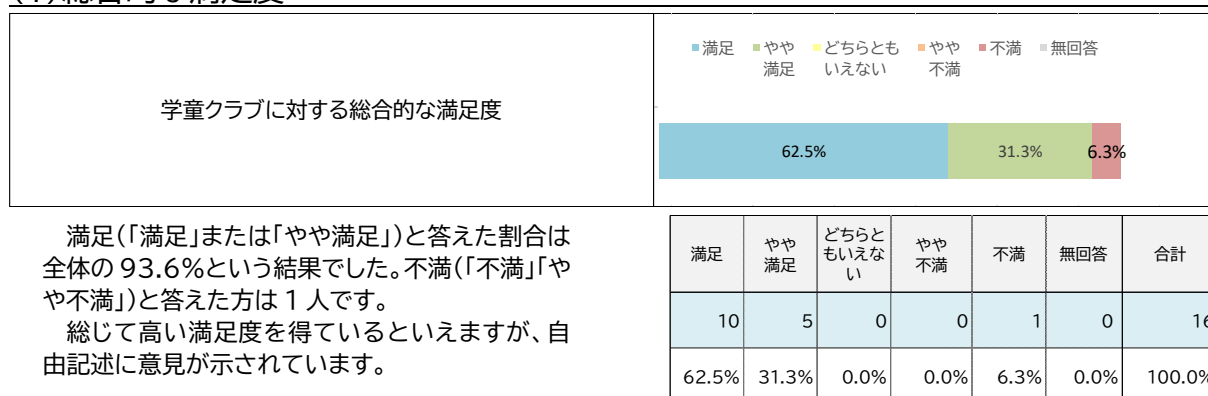
ありがとうございました。

調査機関：経営創研株式会社(東京都中央区日本橋大伝馬町 17 番 3 号) 電話. 03-6661-9410 担当:石井

5. 学童クラブ(保護者)

配布枚数	44 枚	回収枚数	16 枚	回答率	36.4%
------	------	------	------	-----	-------

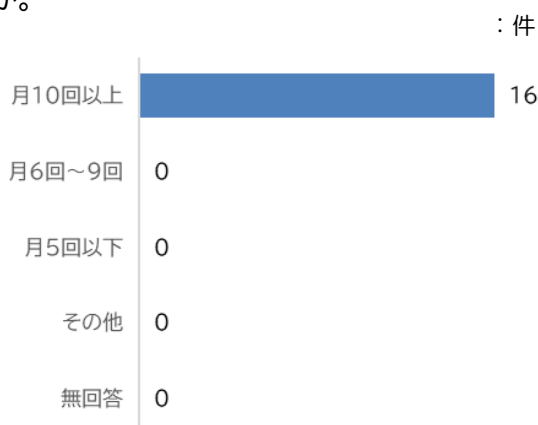
(1)総合的な満足度



(2)利用頻度および属性

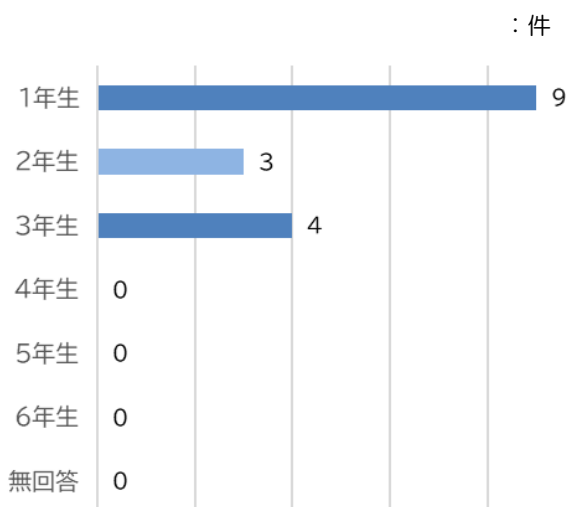
①お子さんの利用回数はどのくらいですか。

回 答	件数	割合
月10回以上	16	100.0%
月6回～9回	0	0.0%
月5回以下	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合 計	16	100.0%



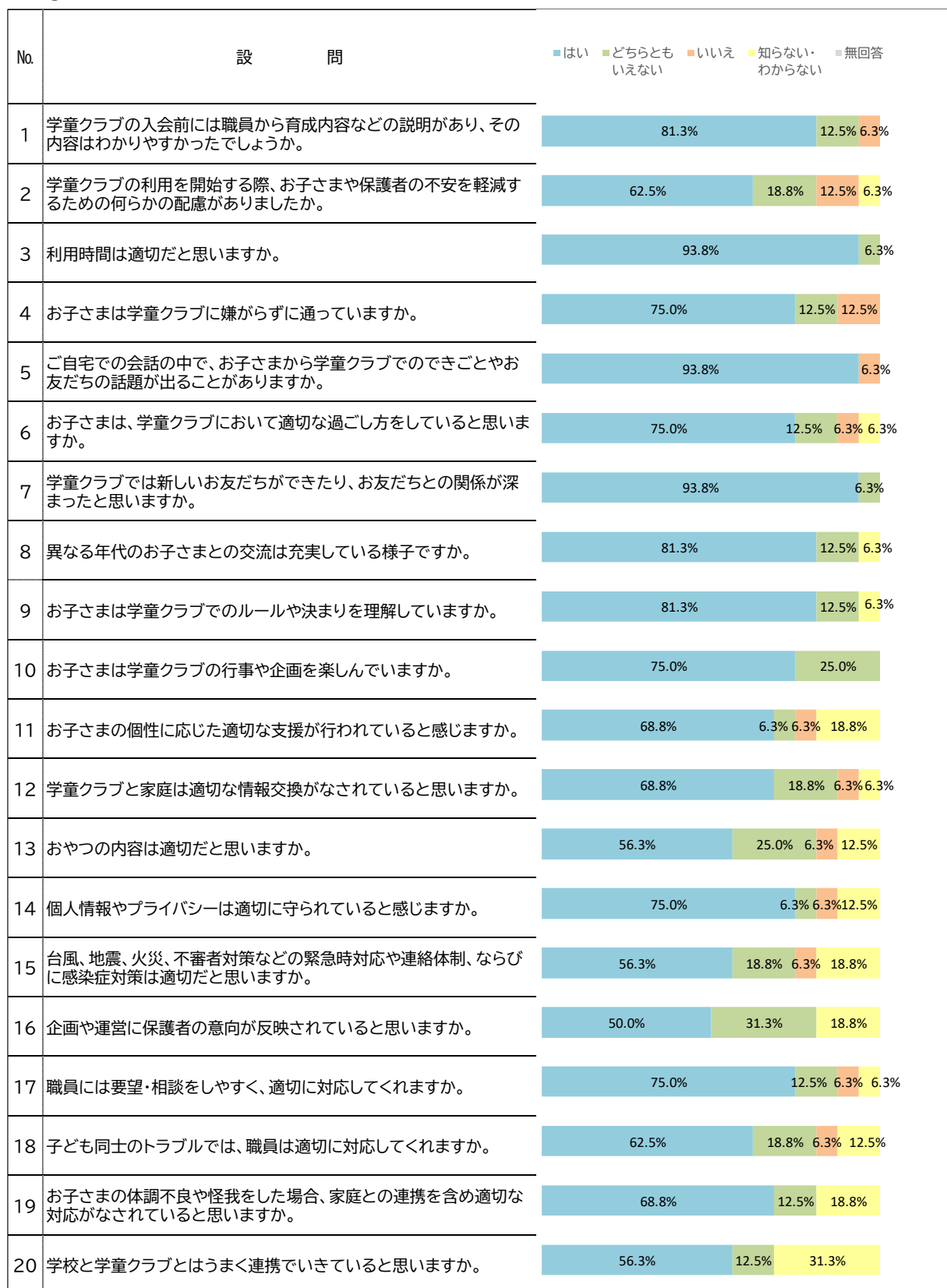
②お子さんの学年は何年生ですか

回 答	件数	割合
1年生	9	56.3%
2年生	3	18.8%
3年生	4	25.0%
4年生	0	0.0%
5年生	0	0.0%
6年生	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合 計	16	100.0%



(3)各設問に対する回答

①グラフ



②数値

No.	設 問	評 点					
		はい	どちらとも いえない	いいえ	知らない・ わからない	無回答	合計
1	学童クラブの入会前には職員から育成内容などの説明があり、その内容はわかりやすかったですか。	13	2	1	0	0	16
		81.3%	12.5%	6.3%	0.0%	0.0%	100.0%
2	学童クラブの利用を開始する際、お子さまや保護者の不安を軽減するための何らかの配慮がありましたか。	10	3	2	1	0	16
		62.5%	18.8%	12.5%	6.3%	0.0%	100.0%
3	利用時間は適切だと思いますか。	15	1	0	0	0	16
		93.8%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
4	お子さまは学童クラブに嫌がらずに通っていますか。	12	2	2	0	0	16
		75.0%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	100.0%
5	ご自宅での会話の中で、お子さまから学童クラブでのできごとやお友だちの話題が出ることがありますか。	15	0	1	0	0	16
		93.8%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	100.0%
6	お子さまは、学童クラブにおいて適切な過ごし方をしていると思いますか。	12	2	1	1	0	16
		75.0%	12.5%	6.3%	6.3%	0.0%	100.0%
7	学童クラブでは新しいお友だちができたり、お友だちとの関係が深まったと思いますか。	15	1	0	0	0	16
		93.8%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
8	異なる年代のお子さまとの交流は充実している様子ですか。	13	2	0	1	0	16
		81.3%	12.5%	0.0%	6.3%	0.0%	100.0%
9	お子さまは学童クラブでのルールや決まりを理解していますか。	13	2	0	1	0	16
		81.3%	12.5%	0.0%	6.3%	0.0%	100.0%
10	お子さまは学童クラブの行事や企画を楽しんでいますか。	12	4	0	0	0	16
		75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
11	お子さまの個性に応じた適切な支援が行われていると感じますか。	11	1	1	3	0	16
		68.8%	6.3%	6.3%	18.8%	0.0%	100.0%
12	学童クラブと家庭は適切な情報交換がなされていると思いますか。	11	3	1	1	0	16
		68.8%	18.8%	6.3%	6.3%	0.0%	100.0%
13	おやつの内容は適切だと思いますか。	9	4	1	2	0	16
		56.3%	25.0%	6.3%	12.5%	0.0%	100.0%
14	個人情報やプライバシーは適切に守られていると感じますか。	12	1	1	2	0	16
		75.0%	6.3%	6.3%	12.5%	0.0%	100.0%
15	台風、地震、火災、不審者対策などの緊急時対応や連絡体制、ならびに感染症対策は適切だと思いますか。	9	3	1	3	0	16
		56.3%	18.8%	6.3%	18.8%	0.0%	100.0%
16	企画や運営に保護者の意向が反映されていると思いますか。	8	5	0	3	0	16
		50.0%	31.3%	0.0%	18.8%	0.0%	100%
17	職員には要望・相談をやすく、適切に対応してくれますか。	12	2	1	1	0	16
		75.0%	12.5%	6.3%	6.3%	0.0%	100.0%
18	子ども同士のトラブルでは、職員は適切に対応してくれますか。	10	3	1	2	0	16
		62.5%	18.8%	6.3%	12.5%	0.0%	100.0%
19	お子さまの体調不良や怪我をした場合、家庭との連携を含め適切な対応がなされていると思いますか。	11	2	0	3	0	16
		68.8%	12.5%	0.0%	18.8%	0.0%	100.0%
20	学校と学童クラブとはうまく連携できていると思いますか。	9	2	0	5	0	16
		56.3%	12.5%	0.0%	31.3%	0.0%	100.0%

(4)自由記述

意見・要望	
1	職員さんたちがフレンドリーで、元々緊張の強い子どももスムーズに慣れることができました。特に三步ドッジを楽しんでいて「上級生の投げたボールをキャッチした」とか、「こういうよけ方があるよ」と、よけ方の実演をしたりとか、家で生き生きと話してくれます。充実した時間を過ごさせて頂きとても有難いです。安心してお願いしています。
2	子どもが保育園に通っていたころ、他の保護者の方とトラブルになり、子どもが体調を崩しました。 そのため、当該保護者の方が子どもを迎えにくる際、対面しないようお願いしていましたが、徹底されなかったため、水分補給やトイレにいけないなど、子どもの行動が制限されることがありました。 子どもにとって大きな負担となっていますので、区と連携しながら対応をお願いします。
3	突然のことが何度もありますが、〇〇という先生が子どもを家に送ります。先生たちのご苦労に感謝します。とても安心しました。

2024 年度墨田区立フレンドリープラザ 立花児童館学童クラブ 利用者アンケート調査

【利用者アンケートへのご協力をお願い】

墨田区立フレンドリープラザ(立花児童館)では、今後のよりよいサービス提供を目指し、利用者アンケート調査を実施いたします。アンケート結果は統計的に処理したうえ、サービス改善の参考資料として使用いたします。したがって、記入者を特定したり、この目的以外に使用したりすることはありません。

調査目的をご理解のうえ、ご協力いただきますようお願いいたします。

回答いただいた用紙は、**7月31日**まで児童館の「アンケート回収箱」に入れてください。

調査実施者：墨田区役所子育て政策課
電話. 03-5608-6195

お問合せ先：経営創研株式会社(本調査委託先)
東京都中央区日本橋大伝馬町 17 番 3 号 電話. 03-6661-9410 担当:石井

【質問内容】

●学童クラブに複数のお子さんがいらっしゃる場合は、総合的にご回答ください。

■お子さんの利用回数はどのくらいですか。

1. 月 10 回以上 2. 月 6～9 回 3. 月 5 回以下

■お子さんの学年は何年生ですか。

1 年生 2 年生 3 年生 4 年生 5 年生 6 年生

■つぎの項目について教えてください。1 つを選んで○をつけてください。

	こ う 項 目	はい	どちらとも いえない	いいえ	知らない わからない
1	学童クラブの入会前には職員から育成内容などの説明があり、その内容はわかりやすかったでしょうか。	1	2	3	4
2	学童クラブの利用を開始する際、お子さまや保護者の不安を軽減するための何らかの配慮がありましたか。	1	2	3	4
3	利用時間は適切だと思いますか。	1	2	3	4
4	お子さまは学童クラブに嫌がらずに通っていますか。	1	2	3	4

裏面に続きます。

こ う ち め 項 目		はい	どちらとも いえない	いいえ	知らない わからない
5	ご自宅での会話の中で、お子さまから学童クラブのできごとやお友だちの話題が出る場合がありますか。	1	2	3	4
6	お子さまは、学童クラブで適切な過ごし方をしていると思いますか。	1	2	3	4
7	学童クラブでは新しいお友だちができたり、お友だちとの関係が深まったと思いますか。	1	2	3	4
8	異なる年代のお子さまとの交流は充実している様子ですか。	1	2	3	4
9	お子さまは学童クラブでのルールや決まりを理解していますか。	1	2	3	4
10	お子さまは学童クラブの行事や企画を楽しんでいますか。	1	2	3	4
11	お子さまの個性に応じた適切な支援が行われていると感じますか。	1	2	3	4
12	学童クラブと家庭は適切な情報交換がなされていると思いますか。	1	2	3	4
13	おやつの内容は適切だと思いますか。	1	2	3	4
14	個人情報やプライバシーは適切に守られていると感じますか。	1	2	3	4
15	台風、地震、火災、不審者対応などの緊急時対応や連絡体制、ならびに感染症対策は適切だと思いますか。	1	2	3	4
16	企画や運営に保護者の意向が反映されていると思いますか。	1	2	3	4
17	職員には要望や相談をしやすい、適切に対応してくれますか。	1	2	3	4
18	子ども同士のトラブルでは、職員は適切に対応してくれますか。	1	2	3	4
19	お子さま体調不良や怪我をした場合、家庭との連携を含め適切な対応がなされていると思いますか。	1	2	3	4
20	学校と学童クラブとはうまく連携できていると思いますか。	1	2	3	4

■学童クラブに対する総合的な満足度をお聞かせください。

満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満
1	2	3	4	5

■学童クラブに対するご意見やご要望などご自由にお書きください。

きょうりょく
ご協力ありがとうございました。